

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年 12月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2024年12月 1日発行 通巻379号

『安全第一』を念頭に

モラルを守って楽しい山歩きを…

12月号 目次

・ 目 次	2
・ 11月理事会報告	3
・ 山行報告：アンナプルナトレッキング（まつど遠足クラブ）	8
・ 山行報告：黒斑山・根子岳（市川山の会）	12
・ 山行報告：陣馬山から景信山（茂原道標山の会）	14
・ 山行報告：クリーンハイク（千葉こまくさハイキングクラブ）	16
・ 調査報告：鎌倉古道、房州アルプス（房総プロジェクト）	17
・ 調査報告：鋸山・安兵衛井戸コース（房総プロジェクト）	19
・ 集会報告：全国海外山行交流集会（海外委員会）	21
・ 集会報告：事故防止・経験交流集会（教育遭難対策委員会）	22
・ 行事案内：房総ハイキング（ハイキング委員会）	24
・ 特集：韓国紅葉ハイキング＜あいうえお順＞（海外委員会）	26
・ 12月・1月予定表	56

個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『山行報告』や『行事報告』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りをお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

県連海外委員会主催の恒例海外ハイキングとして、10月18日（金）～21日（月）の3泊4日で、韓国首都ソウル近郊にある『北漢山（プッカサン）836m』と『冠岳山（クァナクサン）629m』を参加者16名で楽しむことができました。

写真は、『北漢山』を右に見ながら周囲の尾根をグルッと周回して最高峰・白雲台（ペグンデ）を目指して登っている途中で、山頂をバックに撮ったものです。タイミング悪く、山頂は雲（？）で覆われていますが、まもなく姿を現してくれました。

山頂直下は、山頂での記念写真撮影待ちで大渋滞でした。その待っている間に、周囲の山々や眼下のソウルの街並みを堪能することができました。（編集子）

2024 年 11 月 21 日（木）千葉県連理事会議事録

2024 年 11 月 22 日 小林康男(まつど山翠会)

日 時 2024 年 11 月 21 日（木）19:00～21:00 オンライン

参加者 県連加盟各会理事、役員

司会：野田、書記：小林理事（山翠） 12 月戸石理事（民医連）

県 連 理 事		×	松宮（市川）	○	前田（かがりび）	○	白崎（岳人あびこ）
×	横山（ちば山）	○	永尾（ちば山）	○	五木田（こまくさ）	○	羽鳥（東葛）
○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	○	佐藤（茂原道標）	○	渡邊（松戸）
○	内藤（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	○	鈴木（らんたん）	○	戸石（民医連）
○	荒井（岳樺）						
県 連 役 員		○	野田（理事長）	○	細村（会計）	○	広木（女性）
○	菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外/機関紙）	○	田中（ハイキング）
全国連役員		×	石川（副理事長）	×	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員が兼務の場合は両方に記載

打合せ議題

1. 理事長挨拶（野田）

気温の変化が激しいこの頃です。北・南アルプス・東北地方の山々には積雪があり、また紅葉の美しい季節となってきました。天候の変化に気を付けて、登山を楽しみましょう。今週から急に寒くなってきました。

2. 役員会報告（野田）

11 月 14 日（木）オンライン役員会 19:00～20:50

- 1) 来年 3 月合同会議の準備について
- 2) 房総の山復興 PJ 今後の活動について
- 3) 障害者ハイク（ふれあいハイク）について
- 4) 各委員会活動協議、他

3. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- 1) 石川 昌 副理事長（欠席）
- 2) 山本尚徳 理事（欠席）

4. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

①事故防止・経験交流集会実施

日程：11 月 16 日（土）10 時～16 時 30 分 会場：塚田公民館

7 会より 15 名の参加（内委員：5 人）

- ・充実した内容だったのでもっと多くの参加が望まれる
⇒ 開催方法を検討して、今後参加者が増えるようにする。
 - ・女性の事故が多いとのことだが、件数だけでなく男女の山行回数で比較すべき
 - ・事事故例研究は千葉県連の事故を取り上げてほしい
などの意見が出された。「ちばニュース 12 月号」に実施報告を掲載予定。
- ②事故報告 ちば山の会 これを入れて今年事故数：10 件/年となった。

2) 自然保護委員会（菅井委員長未参加のため野田代読）

- ①11 月 16（土）～17（日） 第 22 回全国自然保護集会（徳島県）
菅井（オンライン参加）、山本久委員（現地参加）
- ②11 月 23（土）～24（日） 関東ブロック「自然保護交流集会」 菅井参加
将来のために、委員の参加も促してほしい。

3) ハイキング委員会（田中）

- ①2025 年 1 月 25 日（土） 房総ハイキング予定（勝浦ウォーキング）
上記の下見山行を行った。「ちばニュース 12 月号」に案内を掲載します。
- ②房総の山 登山道調査実施 ⇒ 房総の登山道復興 PJ の項で説明

4) 組織委員会（野田）

委員会活動状況の調査など、今年度の計画に沿って活動中。
（今後役員会、理事会の意見を取りこみまとめる予定）

5) 女性委員会（広木）

11/12 委員会開催、 来年 2/15 石田先生講演会予定（会場が確保できれば）

6) 海外委員会（安彦）

- ①韓国：紅葉ハイキング（10/18-21）を好天に恵まれて実施（参加者 16 名/4 会）
- ②上記思い出交換会（Zoom）を 11 月 18 日（月）19:00-21:00 開催（現地ガイド参加）
- ③全国連盟：第 1 回海外山行交流集会（11/9-10）開催
千葉県連より 4 名参加：安彦（委員）、酒井（報告者）、石川、廣木
- ④次回の委員会を 12 月 26 日（木）19:30-21:00 開催予定（Zoom）
- ⑤海外山行計画書を必ず全国連盟海外委員会に提出して下さい（メール可）。

7) 機関紙委員会（安彦）

- ①『ちばニュース』関連
- *『実態と改善のアンケート調査』と『投稿依頼』の方法について継続検討中
⇒ 過去 2 年間の投稿状況リスト説明、投稿が少ない会は投稿願いたい。
会報の投稿でも良いか？ ⇒ OK です。余白などの体裁に注意願います。
実施時期と投稿時期がずれても良いか？ ⇒ OK です。
 - *『11 月号』を 10 月 31 日に、各会代表者・県連理事・県連役員に配信/PDF 添付
 - *表紙用写真、山行報告、行事報告などの投稿を引き続き継続募集中
- ②次回の委員会を 11 月 28 日（木）19:00-21:00 開催予定（Zoom）

5. 役員会より（野田）

1) ふれあいハイクについて（添付資料参照）

- ・10月理事会で岡田様（こまくさHC）から説明があった内容をまとめました。県連としての方針を決めたいと思います。資料参照の上、意見等発言をお願いします。⇒配布資料の要点説明。
- ・今後、主担当は五木田理事（こまくさHC）をお願いします。
- ・11/25（月）障千連との打合せ予定。（五木田、岡田、野田出席）

⇒意見等

- ① 山歩きの楽しみを障害者にも味わってもらう。参加者は楽しんでいる。
- ② 労山の活動趣旨と合致している活動である。ボランティア活動。
- ③ コロナ以前と状況が異なっている。会員の高齢化や意識の低下等
- ④ 今後障千連と協議しながら、県連としてできる範囲で協議を進めていく。

2) 全国連安全対策基金 申請します。

本年度安全対策に係った費用として、「15万円」を申請しました。

3) 来年3月の合同会議の準備を始めます。資料作成などの準備をお願いします。

・概略スケジュール △：理事会

10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
	資料作成		調整・確認 △		
△	△	△ 対面理事会		各会事前確認 2月 △	理事会承認 3/1 合同会議 ▲
			資料発行 ▲	印刷 ▲	

- ・12月末までにある程度の資料を準備してください。委員会内部で了解を得る作業を進めてください。
- ・県連役員・理事と会代表が重複する場合、及び欠席者がある場合には、代理者の選任をお願いします。

6. 房総の山復興PJ（野田、田中）

1) 房総の登山道の状況調査を3団体で手分けして行っています。

ハイキング委員会主体で実施。各会の協力をお願いします。

- ① 11/5（火）鎌倉古道～房州アルプス 3人（実施済み）
- ② 11/8（金）鋸山 安兵衛井戸コース 4人（実施済み）
- ③ 11/29（金）高宕山周辺（予定）

→参加希望者は、ハイキング委員会（田中委員長）まで連絡をお願いします。

2) 「首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）」の調査費用について、千葉県自然保護課よりPJに相談がありました。（10月理事会でも概略説明）

『県内の「首都圏自然歩道」が台風、大雨により被害を受けている。復旧に当たっての調査費用の提出をお願いしたい（被害の大きい15コース）。』

PJで見積書を作って県に提出する準備を進めています。

今後、県との打合せにより、表記作業の実施が決まりましたら、登山道調査に各会で協力をお願いします。（千葉県自然保護課提出見積 40万円）

3) PJ会議 12月3日（火）19:00から予定（オンライン）

7. 各会理事からの活動状況報告の要点

今月の担当：岳樺クラブ、岳人あびこ、ちば山（市川山の会：12月に依頼）

1) 岳樺クラブ（荒井理事）

- ・会員7人、クライミング主体、例会1回/月、岩トレ時に現地で行っている。
- ・ニーズはあるが会員が増えない（条件、50歳前半、複数会の所属は不可）。

2) 岳人あびこ（白崎さん：高橋理事代理）

- ・会員数56人、女性が70%、入会者が増加した。⇒ HP、公開登山の影響
- ・高齢化が進んでいる。平均70歳 ⇒ ゆるゆる山行（低山）を行っている。
- ・年間会山行：50～60回、参加者：12～20人/回、個人山行が30%増えた。

3) ちば山の会（永尾理事）

- ・会員数100人程度、HP見ての入会、SNS発信も、20～70歳と幅広い年代
- ・常時活動は50人程度、山行管理は週単位（担当者交代）で実施、多い時には20件/週
- ・個人情報の扱い検討中（ほかの会はどうしている？）
⇒ 緊急連絡先など提供されない場合は、参加者を計画書に掲載しない。
会員外の参加者は、計画書に掲載しない。責任は持たない。
個人情報管理について、労山として確立しておく必要があるのでは…？

8. その他

1) 12月19日（木）理事会、船橋市西部公民館で、対面方式で行います。

欠席の場合は、野田まで連絡をお願いします。

⇒ 対面式理事会を12月、4月、7月の年3回実施予定

2) 来年3月合同会議の準備

日 程 2025年3月1日（土）

12:30 受付開始 13:00～16:00 会議 3時間を予定

場 所 船橋市西部公民館集会室1, 2 予約予定（会場は12:00～18:00）

参加者 役員、理事、会代表者 理事会20人+15人=35人程度

内 容 活動報告、会計報告が主、各会からの意見も取り上げる。

3) 加盟会員数報告をお願いします。（毎年のことです）

①提出期限 12月10日（火）までに下記まで提出してください。

提出先 理事長 野田久生（かがりび） noda.hisao@jcom.home.ne.jp

理 事 永尾美佳子（ちば山） mikakonagao@gmail.com

取りまとめ：永尾理事

12月19日（木）理事会で確認後、全国連に提出します（野田）

②注意事項

1) 報告の会員数で来年の全国連と県連盟費が算定されます。

2) 全国連に報告後、変更はできません。（全国連締切 12/25）

4) 10月末 県連予算執行状況（会計：細村さん）

・収入 70% 今年度連盟費未納の会が有ります。早急に納入をお願いします。

・支出 68% この状況だと、予算内に収まりそう。

今後交通費の請求が増えます。

経費の請求は早めに（12月理事会前に）会計まで

12月理事会で現金支払いとなります。

12月末以降になると、支払いができなくなる可能性があります。

5) カレンダー申込状況報告（五木田理事）

現在 39 部の申込。12月理事会時に会計まで代金の支払いをお願いします。

6) 「ちばニュース 11月号」に入山禁止地域の山行記録が掲載されていた…との意見あり。

⇒これは投稿者の責任で対応する。「ちばニュース 12月号」に注意の案内を掲載する。

以上

<お詫びと訂正>

『2024 ちばニュース 11月号』のp.11の写真説明文で間違いがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。関係者の皆様にご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんでした。今後は更に細心の注意を払いながら極力間違いのないように編集作業を行いますが、仮に間違いがありましたらご指摘をお願いします。この度は、ご指摘をいただきましてありがとうございました。（編集子）

（正）印西クラック ← （誤）グリーンアロー海浜幕張店

入山禁止や通行自粛の地域では、**登山者のモラル**として、

安全第一に、且つ、**自然に優しい**山歩きを実践しましょう！

『アンナプルナ外周トレッキング&ムスタン観光』

まつど遠足クラブ 内藤光雅

＜参加にあたって＞

昨年、千葉労山主催の「エベレスト街道トレッキング」に参加した際に、ガイドの中山岳史さんが「アンナプルナトレッキングは、エベレスト街道トレッキングより面白い」と話されていたのがずっと気になっていました。そんな折に、エベレスト街道トレッキングと一緒に参加した戸村秀信さん（ちば山の会）から中山さんがアンナプルナトレッキングを計画していることを教えていただき参加した次第です。

場所場所により景色が変化に富んで色々な絶景を楽しむことができました。

また、ムスタン観光についてはもう行く機会はないだろう程度で参加しましたが、ムクティナートからローマンタンへ断崖絶壁の道路をジープでの移動中にはダウラギリ山群の大展望、ローマンタンのゴンパ（寺院）では数多くマンダラ（宗教壁画）等々期待以上のものがありました。

今回のトレッキングで一緒の女性は、昨年エベレスト街道トレッキングでルクラ飛行場が3日間閉鎖になり飛行機が飛ばず陸路でカトマンズまで行ったとの話に、今回の自分たちのトレッキングは順調だと話していた矢先に、ネパール航空のフライトキャンセルが3回あり3日間の延泊となり散々でした。

ただ、カトマンズで延泊したおかげで周辺の観光をすることができました。

＜内容＞

日程 9月30日 ～ 10月22日 （23日間）

※本来は10月19日までであったが、ネパール航空によるフライトキャンセルの為3日間延期となる。

参加者 戸村秀信さん（ちば山の会） 内藤光雅（まつど遠足クラブ）
女性3人 計5人

ガイド 中山 岳史さん ブジェンドラ・ライさん（現地ガイド）

※お二人には、昨年千葉労山主催のエベレスト街道トレッキングでお世話になりました。

＜日通＞

（宿泊地標高）

9月30日 成田 10:30⇒（ネパール航空直行便）⇒カトマンズ 16:00（1,400m）

10月1日 カトマンズ 10:30⇒（ワゴン車移動）⇒ベシシャハール 20:00（760m）

トレッキング開始

10月2日 ベシシャハール 8:00⇒（ジープ移動）⇒ダナキュウ 14:30
（トレッキング開始）…チャーメ 17:30（2,650m）

10月3日 チャーメ 8:00…ピサン 14:00（3,300m）

山ひとつが、丸ごと巨大なスラブになっているソルガトゥアリが見られる。
パルスオキシメーターによる血中酸素濃度測定開始。
ダイアモックス半錠飲み始める。



アンナプルナⅡ



ソルガトゥアリ

10月4日 ピサン 7:30…マナン 14:30 (3,540m)

間近に迫ったアンナプルナⅡ峰(7,937)Ⅳ峰(7,555)の絶景を見上げながら高度を上げる。

10月5日 マナン 8:00…カンサール 10:30 (3,790m)

当初の計画では、マナンで連泊して高度順化する予定であったが先に進む。そば畑での手作業による収穫風景に日本の農村の原風景を思い出す。

10月6日 カンサール 7:30…ティリチョBC 11:30 (4,150m)

マナスル(8,163m日本人が初登頂)が顔を出す。ティリチョ湖から流れる川のスケールの大きい渓谷美に圧倒される。樹々が色づいてきている。ティリチョBC手前ルート上見上げると巨大な奇岩がそそり立っている。到着したロッジ目の前には、カンサルカング(7,485m)がどっしりと構えている。

10月7日 ティリチョBC 5:00…ティリチョ湖 10:30…ティリチョBC 12:30

世界最高地(4,920m)にあるティリチョ湖を往復する。ロッジ出発時は気温マイナス5度。朝日に照らさせたマナスルが神々しい。青い空 雪に囲まれてエメラルドグリーンに輝く湖水の息をのむほどの美しさに感激する。「ドカン！」と今まで聞いたことのない音に驚く。振り返ると斜面に大きな雪煙が見える。雪崩が起きていた。



ティリチョ湖



マナスル朝焼け

10月8日 ティリチョ BC 7:30…ヤクカルカ 16:00 (4,050m)

アンナプルナⅡの外輪山があるような違った山容を楽しむ。
ヤクが、放牧された牧歌的風景が見られる。

10月9日 ヤクカルカ 8:00…トロンフェデイ 12:00 (4,450m)

400m近いつり橋を渡ってトロンフェデイに到着する。

ロッジより川を隔てて巨大な岩稜帯が見られる。

昼食後、中山さんから山で使える便利グッズ紹介、又みんなで思い思い紙片に書いた名前を当てるというゲームに興ずる。これらは、高山病対策として眠らないようにするためのきめ細かな対策だったと後から気づく。

10月10日 トロンフェデイ 3:00…トロンパス 8:00…ムクティナート 14:00 (3,760m)

出発時は、気温マイナス1度とティリチョ湖出発時ほど寒くない。

途中小雨が降り出したが、すぐに止む。積雪もなかった。

今回トレッキングの最高地点トロンパス (5416m) を無事に全員超える。

みんなで手を取り合って喜ぶ。

トロンパスを超えると景色が一変して荒涼とした砂漠地帯と変わる。



トロンフェデイ



トロンパス

ムスタン観光

10月11日 ムクティナート 7:30⇒(ジープ移動)⇒ローマンタン 14:00 (3,810m)

ムスタン王国は、ネパール領の自治王国で2008年まで存続していた。

1991年までは、外国人の立ち入りが禁止されていた。

旧都は、ローマンタン。山を越えるとチベット。

10月12日 ムスタン観光

午前 ローマンタン旧市街散策 ゴンパ(寺院)3か所見学

午後 仏教行者たちが、瞑想修行したといわれる無数の洞窟がある

「ジョン・ケイブ」見学

10月13日 ローマンタン 10:00⇒(ジープ移動)⇒ツァラン 11:00 (3,580m)

ツァラン村は、河口慧海(仏教法、探検家)がチベットに渡る前10ヶ月あまり滞在した村

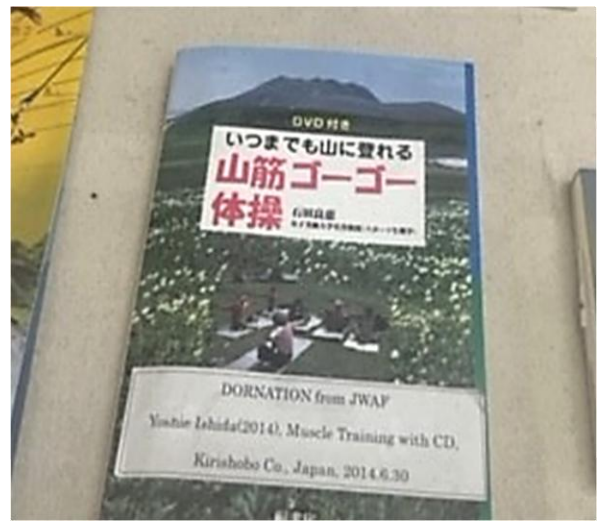
10月14日 ツアラン 8:00⇒(ジープ移動)⇒ジョムソン 12:00 (2,682m)
ジョムソン飛行場があり、世界で一番危険な飛行場の一つである。
険しい山に囲まれていて午後になると山から吹く強風のせいで午前中しか飛行機は飛べないそうである。

10月15日 マルパ村 トレッキング
河口慧海が滞在した民家が河口慧海記念館になっている。
日本人が指導したりんご園では、赤い実をつけてたわわに実っている。

10月16日 ジョムソン⇒(ジョムソン航空にて移動)⇒ポカラ (800m)
ポカラは、カトマンズに次ぐ2位の都市。
国際山岳博物館見学 田部井淳子さん野口健さんの展示がある中で
「山筋ゴーゴー体操」の展示もあった。



ケイブ



「山筋ゴーゴー体操」

10月17日 ポカラ⇒(イエティ航空にて移動)⇒カトマンズ (1,400m)
早朝、ヒマラヤの展望所として知られる「サランコット」に登るが、霧がかかり何も見えなかった。
ポカラ 11:55 発フライトの予定であったが、15:40 発になる。
遅れは、日常茶飯事らしい。

10月18日 深夜便で帰国する予定であったが、
ネパール航空によるフライトキャンセルの為、カトマンズにて延泊。
最終的には3回のフライトキャンセルとなった。。

10月19日~21日 カトマンズ3泊

10月22日 カトマンズ 3:00⇒(ネパール航空直行便)⇒成田 14:00

以上

黒斑山・根子岳山行記 ～濃霧と霧氷の絶景～

市川山の会 有賀 孝夫

「秋冷の候」と言われる季節なのに、先週までは夏日続出。滴る汗も夏そのもので、「いったい今後の地球はどうなるのか…」と思いつつも、市川山の会は10月19日(土)20日(日)の2日間、長野県の高原へ1泊2日のバス山行。しかもいつもの山小屋と違いホテル泊と期待は膨らみます。参加者は男性10人、女性10人の20人。

1日目：10月19日(土)

スキー場もある高峰高原より黒斑山へと木々から滴り落ちる雫を受けながら森の中を進みます。車坂山を越えた辺りから植生も変わり、岩の多い登坂路へ。

外輪山の崖っぷちを歩き、辿り着いたのは、風速20mは超えていそうな強風の岩峰「トーミの頭」。辺りは真っ白で展望は全く無し。これ以上進むのは危険と判断し黒斑山登頂は断念。中コースを通過して下山しました。

宿泊は菅平高原のホテル、大好きなビールとバイキング料理で歓談しました。

2日目：10月20日(日)

濃霧と強風と低温の朝。バスを降りてすぐ強風の洗礼を受けつつも、牧場脇の登山道を一路根子岳へと登り始め、先ずは展望台をめざしました。この日のような曇天で無ければ北アルプスが望める…とのことでしたが少々残念。

しかし、この空のお陰でまさかの事態に！歩を進めると若くて細い白樺の森が現れます。紅蓮の赤い紅葉も好きですが、白樺のパステル調の黄葉も美しい！

ここから先は「驚嘆」の光景が網膜に飛び込んで来ました。氷の女神の吹く冷たい息、水蒸気の妖精たち、日射しを遮るガス雲によって、筆舌に尽くし難い「霧氷」の華麗で美しい光景に包まれたのです！ナナカマドの赤に着く氷はルビーに、マツムシソウの紫の花はアメ

ジスト、白樺の細い枝は銀細工。そして

「霧氷」の伸びゆく指は足元の岩々にまで！白一色の冬の「霧氷」と異なり、秋の「霧氷」は変幻自在に物の色を浮き立たせます。



そして「霧氷」はまた表情を変えました。眼下を覆っていたガスが速い風に吹き飛ばされた一瞬の青空の下、全山がダイヤモンドの粉を塗したように透明感を持った銀色に輝いたのです。微細な桜の花びらを纏ったと言ってもいいでしょう。感動の瞬間でした。

そして美の演出者でもあった氷たちは、根子岳からの下山時にまた表情を変えました。太陽の光を浴びると氷のシャワーとなって降り注ぎ、パラリンパラリンと素敵なメロディを奏で始めたのです。

幾つかの自然条件が重なって、夢か幻かのような光景が出現し、ほんの短い時間で儚く消えていきました。本当に得難い映像と音声を体験しました。私がもし事切れる間際にこの光景を思い出せたなら、どんなに幸せでしょう。



根子岳山頂にて

毎月、バスを利用して、色々な所へ、多くの会で、『記憶に残る山行』を楽しんでいる様子が伝わってきます。

今回は、歓迎されないような天候の中を歩いたようですが、それを上回るような絶景を堪能できたようで良かったですね。感激・かんげき・カンゲキの極みだったことと思います。

今後も引き続き投稿をお願いします。編集の励みになっています。(編集子)

陣馬山～景信山を大勢で歩く

茂原道標山の会 和泉睦

日程：令和6年11月3日、参加者：15名

<ルート>

大網 5:19→千葉 5:44/5:53 総武快速→錦糸町 6:23/6:29 総武線三鷹行き→御茶ノ水 6:38/6:44 中央快速→立川→高尾 7:56/8:10 高尾北口西東京バス→陣馬高原下 8:47
…8:55 バス停出発…陣馬山 (857m) 10:44/11:20…南郷山/11:35…明王峠
12:10/12:20…赤岩山…堂所山…景信山 (727m) 13:50/14:31…景信山登山口…
15:33 小仏バス停 小仏バス停 15:40→高尾 16:01/16:11 高尾→17:15/17:31 御茶ノ水
千葉行き→千葉 18:16/18:34 茂原行き→18:58 大網

<山行記録>

大網駅始発電車にて高尾に向かう。当日1名不参加となったが、総勢15名の大人数のパーティーである。中央線の電車は予定より1本早く乗車、立川で乗り換え高尾着は予定通り。陣馬高原下迄のバスは満員。

バス停から登山口まで、しばらく車道を歩く。登山口から陣馬山までは急登が続き息を整えながら登る。

登り切ったところで天にいななく白馬が出迎えてくれた。晴天微風で展望が素晴らしい。

奥多摩や丹沢山塊、11月にまだ雪を被っていない富士山が美しい。

昼食後に景信山に向かう。

陣馬山からはほぼ下りになり、鳥の涼やかなさえずりを楽しむ余裕もできた。

紅葉には少し早いようだが、ところどころ色づいている。

前日の雨の影響で泥濘があり、歩きにくいところがあったものの、巻道含めて迷うような場所は無し。





明王峠で小休止。ここにはトイレもある。富士山を背景に撮影できるスポットもあった。

景信山には予定より早く到着し記念撮影後に大休止。景信茶屋名物の「なめこ汁」@350 円を早速注文し味わう者多数。味はやや濃いめ。入間基地航空祭当日のようでブルーインパルスが曲芸飛行をしていた。

14 時半に下山開始。途中、滑って尻餅をつく場面もあったが、全員怪我無く元気に小仏バス停に到着。

帰りのバスは、全員座れて高尾駅にて散会し、各自それぞれ帰途についた。

＜反省と教訓＞

往路の中央線電車の行き先を未確認のまま乗車し「青梅行」だったため、立川で乗り換えた。実害は無いものの電車の行き先は要確認。大勢での山行で、予定時刻よりも遅れるかと思ったが、メンバーの頑張りとリーダーの休憩時間 管理や励ましで予定の時間通り下山することができた。お疲れさまでした。

＜ 短信 11 月 ＞ ▲茂原道標

11/3 陣馬山（会）15 名

11/5 例会 18/20

11/23 茅ヶ岳（会）6 名

11/23-24 川苔山（個）3 名

11/30 岩トレ（会）9 名（予定）

独り言…陣馬山 15 名参加は、多かった！



茅ヶ岳山頂

毎月の投稿をありがとうございます。「今月はどうのような山行報告が届くのかな…」と、楽しみに待っています。今後も投稿を宜しくお願いします。（編集子）

第8回花見川クリーンハイク報告

千葉こまくさハイキングクラブ 五木田啓文

日 程：2024年11月7日（木） 晴 参加者14名

会員が多数居住する千葉市花見川区に焦点を当てたクリーンハイクも今年で8回目。参加者も慣れたもので、集合場所の花見川区役所から花見川沿いに二手に分かれ活動開始。今年は兩岸の雑草の刈り取りが直近に行われたせいか、表面上は、余りごみは見えなかったが、それでも釣り人が捨てたと思われるペットボトル等のごみは相変わらず草むら等に潜み、みんなで必死にかき集めたごみは、今年も2時間の活動で下記の通りの“大漁”となった。

一人一人は小さな力だが、継続してやり続けることの大切さをかみしめ、少しでも自然保護の考え方が地域にも根差してほしい…との思いを深めた1日であった。

活動終了後は、会員の親睦を兼ねた野外広場での昼食会。山行の思い出等に話が弾み、時が経つのを忘れてしまう程の楽しい1日でした。（県連理事）

可燃ごみ	不燃ごみ	合 計
95.5 kg (19 袋)	62.5 kg (11 袋)	158 kg (30 袋)



清掃活動開始直前



清掃活動に没頭する女性陣



ゴミをバックに集合写真



活動終了後、東屋で昼食

『鎌倉古道～房州アルプス』登山道調査報告書

房総の山復興PJ担当 野田久生

日程 2024年11月5日(火) 曇り

コース 梨沢公民館 P 発 8:20→鎌倉古道登山口→大塚山→三浦三良山→車道出会
10:00→車道歩き→内台房州アルプス登山口 10:30→無実山→志駒愛宕神社
→車道登山口 12:50→梨沢公民館 13:20 【所要時間：5時間(休憩含む)】

参加者 千葉労山 男3人

登山路の状況

1. 鎌倉古道

倒木、登山道共に整備されていた。ハイキングに問題なし。梨沢地区の成年部、
県内登山者有志が整備。



梨沢公民館駐車場



整備された登山路



登山路 ロープあり



登山路 倒木処理済



登山路 倒木処理済



大日如来石仏(小さい)



鎌倉古道登山口標識

2. 房州アルプス

内台登山口は民家の近くを通過しなければならず注意が必要。

登山口近くの登山道に最近と思われる倒木1カ所あり。その他の登山道は整備されており、ハイキングに問題なし。



房州アルプス登山口標識



登山口近く 倒木処理済



登山路 倒木処理済



登山口近く 倒木未処理

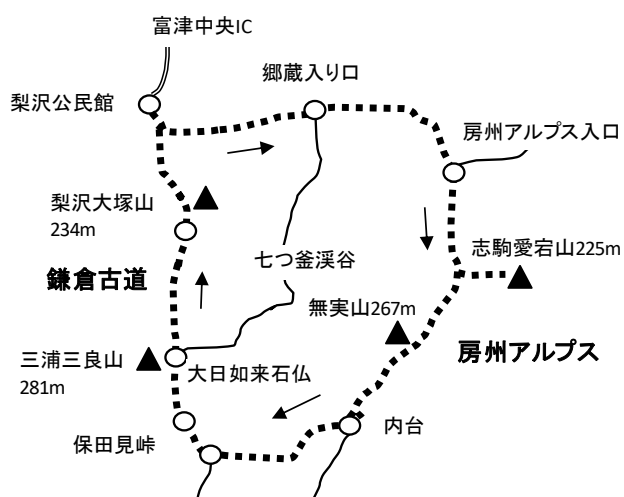


登山路



登山路 倒木処理済

概略地図



登山路一部崩壊のため う回路の標識

※ 鎌倉古道の名前の由来

「源頼朝伝説」の言い伝えにより、このような名前が付いている。

『鋸山：安兵衛井戸コース』登山道調査報告書

房総の山復興 PJ 担当 野田久生

日 程 2024 年 11 月 8 日（金）曇り時々晴

コース 金谷海浜公園駐車場集合 8:40→登山口 9:00→安兵衛井戸コース→東の肩
11:05→鋸山 11:30→展望台→車力道→登山口 13:00→駐車場着 13:30

【所要時間：4 時間 50 分】

参加者 千葉労山 4 人（男 3 人、女 1 人）

登山路の状況

鋸山登山の一般道から分かれる安兵衛井戸コース入り口には「登山者進入禁止」の看板がある。車道の奥に民家が数軒ある（ほとんど廃屋）。この先の登山道の倒木は処理されていて通行に支障はない。沢には倒木が多く倒れており沢の通行はできない。さらに進み沢筋に入ると倒木など多くあり、通過が少し困難。

素掘トンネルを過ぎると、「安兵衛井戸」の言われの湧水池に着く。以前はきれいな湧水池だったらしいが現在は泥で汚れている。この先急な登山道を登り尾根にでる。そのまま進み東の肩に出て一般道に合流する。このコース、ハイキングには無理で、経験者向き。大雨により、倒木、崩壊など多く発生しそうなので整備も難しそうに感じた。昔は住民の生活道として利用されていたため、このような名前（安兵衛井戸道）が付いているとのこと。

現在近隣在住の有志が、倒木処理等登山道の整備を行っている。



一般道からの分岐場所



進入禁止看板



車道はここまで



登山道の倒木は処理済



沢には倒木が多い



処理されている登山道の倒木



沢の上流部は倒木が多く困難



素掘トンネルを通過する



真っ暗なので要注意



安兵衛井戸 泥、倒木が多い



倒木処理されているが通過困難



尾根道を通る



ロープがある場所もある

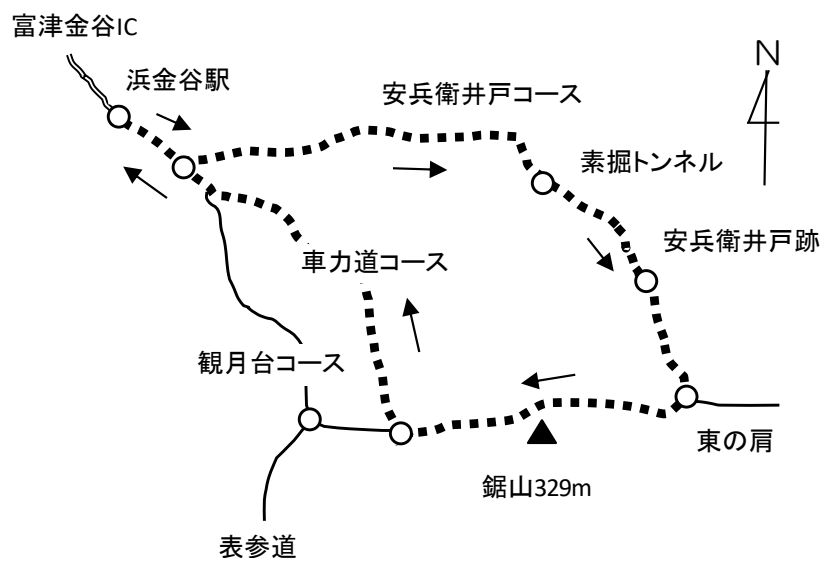


もう少しで東の肩



東の肩（一般道）に到着

概略地図



日本勤労者山岳連盟海外委員会主催

『第1回海外山行交流集会』に参加して

千葉県連海外委員会委員長 安彦秀夫（東葛山の会）

期 日：2024年11月9日（土）12:30 受付開始～10日（日）12:45 解散

場 所：全国連盟事務所1階会議室

参加者：会場30名（講演・報告者：7名、一般参加者：16名、スタッフ：7名）、
*千葉県連会場参加者/4名：安彦（委員）、酒井（報告者）、石川、廣木
他に、Zoom参加申込者：12名（但し、当日全員を確認できませんでした）

この春に全国連盟の海外委員会委員になり、毎月第2火曜日 19:30 からの Zoom 会議に参加し、開催に向けて打ち合わせを続けてきました。

『昨年2023年1月～12月、そして本年2024年1月～6月に実施した海外山行計画』を一覧に纏めた後、25件ほどを選択し、報告書を提出（17件）していただきました。更にその中より、集会時の報告者を絞り報告をお願いし、快く引き受けていただき感謝しています。

開催まじかになり、全国連盟事務所に2度集まり、資料集などの準備を行うとともに、当日の宿泊やプログラム、進行、懇親会などについて、最終的な打合せを行いました。

当日は、早めにスタッフが集まり、会場設営や受付などの準備を済ませ、参加者を待ちました。

参加申込者が揃い、清野海外委員（理事）の開会宣言から始まり、今野副理事長そして武笠海外委員長（理事）の挨拶の後、5名からプロジェクターを利用してスクリーンに写真などを投影しながら山行報告がありました。尚、3番目に酒井荘多さん（船橋勤労者山の会）から報告がありました。

報告終了後に集合写真を撮り、夕食を兼ねた懇親会を行った後に、今宵の宿『東京セントラルユースホテル』に場所を移し、二次会を経て眠りに着きました。

翌2日目は、特別講演を労山活動のレジェンドの近藤和美さんからあり、続いて2件の報告後に散会となりました。

集会の『資料集』などは⇒



https://drive.google.com/drive/folders/1aAV2-phm1pYM40tseVcxIAfRJaySjOoy?usp=drive_link

2024 事故防止・経験交流集会 実施報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

教育遭難対策委員会主催で実施した『事故防止・経験交流集会』を報告します。

(1) 日 程： 2024 年 11 月 16 日（土） 10 時～16 時 30 分

(2) 場 所： 船橋市塚田公民館

(3) 参加者： 7 会から 15 名

ふわくハイキングサークル、ちば山の会、かがりび山の会、岳人あびこ、
東葛山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、松戸山の会

(4) 実施内容

① 事故報告

今年度の事故は 9 件で、その内クライミング事故 4 件が特徴的である。

全国連盟の昨年の事故件数は過去最高であり、今年も同等の件数が発生している。
第 21 回山岳遭難事故調査報告書（全国）では、50 代～70 代は女性事故数が男性
より大きく上回っていることが報告されている。

② 事故事例報告

7 月の全国連遭難対策担当者会議で報告された「広島県の十方山滑落死亡事故」
を取り上げた。

男性 4 人女性 2 人のパーティーで、行程管理のまずさから下山が遅れ、道迷いの
後、斜め下方に張ったロープを伝って降りている最中に転び、ロープを放して滑
落して死亡している。

山行計画書に主要場所の到着予定時刻の記述がない、道迷いで崖を強引に降りて
いる、ロープを手がかりにした下降ではセルフビレイをとっていない、事故後 2
つのチームに分かれて下山している…など、問題の多い山行であった。

③ 県連 7 点セットの検証結果報告と安全確保のロープワーク術

従来の県連 7 点セット（10m ロープ、120cm スリング、60cm スリング×2、カラ
ビナ×2、安全環付きカラビナ）に関して、登山講習や最新登山技術書を参考に
見直し、教遭委員会で検証した。

その結果、「装備」を次のように定めた。

*山行メンバー全員が携帯すべき装備 6 点

120cm もしくは 150cm スリング、 60cm スリング×2、 カラビナ×2、
安全環付きカラビナ

*リーダーが携帯すべき装備 4 点

20m ロープ、 120cm スリング、 安全環付きカラビナ、 グローブ

また、これら装備の使い方とそれに伴うロープワークを「安全確保のロープワ
ーク術」としてまとめたので紹介した。

④ フリー・ディスカッション

3つのグループに分かれディスカッションを行った。

□リーダー育成と新人教育の取り組み

- ・どの会も座学と実技を年間計画を立てて実施している。
- ・リーダー研修は、やっている会とやっていない会とがある。
やっている会ではテキストを作成して実施している。

□山の会としての個人情報保護を考える

- ・総会資料に個人情報管理規定を記載している会と、これから管理規定を整備しようとする会もある。
規定類が何もない会が2会ある。
- ・規定類はないが、山行時に緊急連絡先、病歴、アレルギーなどの情報を記載した個人表を携帯するよう指導している会がある。
- ・HPに掲載する写真は、本人たちの了解がとれたものを載せている。
- ・個人情報管理規定がないと会員外から緊急連絡先取得時に、こういった管理をしているのか示せない。

□会組織のあり方と担当役員交代の実態

- ・会組織は組織構成の大小はあるが、組織体系はどの会も同様である。
- ・会の運営を全員で分担している会では、移行はスムーズにできている。
一部の人が担当している会では、次の引継ぎが問題となっている。
- ・任期は2年が多いが、会長や事務局長などの重要ポストの交代はもめることが多く、運営委員会で山行経験などを考慮して推薦して決めているが、最終的には人格と人間性で引き受けてもらっている。

(5)実施後の参加者の感想

- ・充実した内容だったのもっと多くの参加が望まれる。
- ・女性の事故が多いとのことだが、件数だけでなく男女の山行回数を加味して比較すべきでは…。
- ・事事故事例研究は千葉県連の事故を取り上げてほしい。

などの意見が寄せられた。

以上



安全確保のロープワーク術



フリー・ディスカッション

第 37 回房総ハイキング開催案内

『さと海さと山：勝浦』を歩く

日にち： 2025 年 **1 月 25 日（土）**（現地集合・現地解散）**日帰り**

集 合：**JR 勝浦駅改札口前 午前 8 時 40 分**

コース：**勝浦の岬を巡る**（勝浦朝市 雛を飾る階段 官軍塚公園 等）

歩行時間：**5 時間 30 分（休憩含む）**

各会で行動（帰り道 迷わないよう詳細に書いています）

移 動： 電車 千葉駅から 1,342 円（片道）

自家用車は「勝浦ホテル三日月」東側に無料の大きな駐車場あります
徒歩約 10 分で勝浦駅

お薦め電車（往）： JR 千葉駅 6 番線 千葉駅 7:10 発（外房線：上総一宮行き）
上総一宮（安房鴨川行きに乗り換え）勝浦駅 8:35 着（1 時間 25 分）

コース： 勝浦駅 8:50 出発 …勝浦朝市…雛を飾る階段 9:50 遠見崎神社…虫浦トンネル
…10:30 八幡岬公園 10:50 …与謝野晶子詩碑（海中公園方面の眺めが良い）
…11:20 ⇒ 勝浦灯台を通過…官軍塚公園 12:00（昼食）12:30 …
（来た道を引き返し 最初の別れ道を右に下り、次の T 字路を直角に右へ）
…万名第一トンネル…万名第二トンネル…13:00 河津港…津慶寺 13:40…
（以下 詳細）
登りきったら川津北トンネル… 道なりに約 500m 進み、道幅が広がった
ら大きく右に…（進むと右手奥に高層住宅が見える）… T 字路を左へ
…直ぐの信号のある交差点を直進…車通りの多い道路（R128）に出たら歩道
を右に 40m 進み、信号で道路を横断…歩道トンネル（探すかも）をくぐる
…道路（R297）に出たら標識に従い（まず右 次が左）…勝浦駅に 14:20 解散
『勝浦駅からの電車』（上総一宮・千葉 行き）14:01 14:32 15:01 16:06 16:45

問合せ・参加申込： 田中康男（ハイキング委員会）

E メール：dz05434@nifty.com TEL:090-8331-6858

各会で纏めて参加申込みをしてください

（連絡窓口担当者のメールアドレスと携帯電話番号を明記）

参加申込締切：2025 年 1 月 12 日（日）

<トイレ情報>

*駅のトイレが少ないので、列車内で済ませてください（上総一宮駅：乗換時間 5 分）

*官軍塚公園から先に公共トイレはありません

（河津漁港にプラスチック製一つあるが、漁業関係者用だと思います）

中止の場合、1 月 22 日（水）19:00 に各会窓口にメール配信

さと海さと山・勝浦の自然を巡る



◆下本町朝市通り
毎月1日～15日
◆仲本町朝市通り
毎月16日～月末
午前6時から11時まで。
但し、毎週水曜日と年始は
お休みです。

黄色丸印(三差路)から
『官軍塚公園』を往復

- ◎遠見岬神社 駅から徒歩8分
社殿向拝の彫刻は4代目「波の伊八」の作品。ビッグな祭りでも有名な60段の階段がある神社。
- ◎勝浦朝市 水曜日:定休 駅から徒歩8分 市営駐車場 トイレ有
天正19年(1591年)から産業振興のため開設されてから400年以上も続く伝統ある朝市です。勝浦の海の幸、山の幸が露店に並び、おじちゃん、おばちゃんとの交渉も楽しみの1つです！
- ◎八幡岬公園 駅から徒歩30分 あり トイレ有
室町時代から3代に渡り続いた勝浦城主正木氏の居城跡地に整備された公園で、散策路が整備され岬の突端の展望広場からは勝浦灯台や勝浦湾、太平洋の大海原が目前に広がり爽快です。3代、正木頼忠の娘で徳川家康の側室(お万の方)となり、高名な水戸光圀の祖母となった「お万の布さらし」伝説の舞台でもあります。園内の一角の高台には養珠婦人(お万の方)の像があります。<県指定史跡>
- ◎官軍塚公園 駅から徒歩45分 あり トイレ有
戊辰戦争の末期、米國船ハーマン号が熊本藩兵を乗せ、函館五稜郭へ向かう途中、川津沖で難破し、その際地元民らが救助にあたったが、200人以上が亡くなりました。その供養のために作られた場所です。
- ◎本行寺 <市有形文化財> 駅から徒歩8分
敷地内にある釈迦堂には日蓮聖人の御歯骨を分与され納められています。

- ◎覚翁寺 <市指定有形文化財> 駅から徒歩10分
本堂正面左右欄間の彫刻は、初代「波の伊八」の作品。徳川家の幕臣、植村家の菩提寺。
- ◎高照寺 <県指定天然記念物> 駅から徒歩7分
勝浦朝市発祥の場所。別名「乳イチョウ」と呼ばれる大イチョウがあります。妊婦さんは是非参拝を！



※自然の場所なので、お店が周りにない所もあります。飲み物などは先に準備して下さい。ゴミはお持ち帰り下さるようお願いいたします。車でも遊べることはできますので、ドライブにもいいですよ！

『韓国：紅葉ハイキング』実施報告

岩と紅葉と大展望の『北漢山』と『冠岳山』を歩いて

海外委員会委員長 安彦秀夫（東葛山の会）

10月18日（金）～21日（月）の3泊4日で、韓国の首都：ソウル周辺にある花崗岩の『北漢山（プッカンサン）836m』と『冠岳山（クァナクサン）629m』を、好天の下、県連の仲間16名で楽しみました。筑波山と同じくらいの低山にも関わらず、変化に富んだコースでスリルを味わいながら、周囲の大展望も思う存分に堪能しました。



参加者の皆さんから『山歩き』、『観光』、『韓国料理』、『ビール』、『ガイド』など多岐にわたる心に残った『思い出』や『写真』を投稿していただきました。これらを『特集』として編集し、多くの皆さんに韓国のハイキングの楽しみの一端を感じていただければ幸いです。

是非、報告文を読みながら、そして写真を見ながら、韓国の低山・料理などをイメージして、参加者とともに韓国を味わっていただきたい…と思います。

私からは、企画から本番までの経緯・裏話などを紹介したいと思います。そして、読者の皆さんが、これから海外トレッキングを企画・実施する際の一助にいただければ幸いです。

<1> 目的地選定

昨年2023年秋の『ネパールトレッキング』から帰国し、『2024 ちばニュース 1月号（特集：ネパールトレッキング）』掲載後、今年2024年の海外山行の目的地選びを始めました。

多くのハイキングの層の会員が参加し易いように『近い』、『低山』、『短期間』、『展望』、『リーズナブルな旅行代金』そして『紅葉』などをキーワードにして選んだのが、韓国ソウル近郊の今回の山でした。

海外委員会で『韓国：紅葉ハイキング』を提案し了承を得た後、これまでに何度かお世話になった旅行会社『ワイルド・ナビゲーション』に相談し、『日程』と『募集人数』などを示し、旅行代金と具体的な日程案（山2座）などを提案していただきました。

<2> 参加者募集

『2024 ちばニュース 6月号』に『参加者募集案内』を掲載しました。

問い合わせが幾つかあった後、じわじわと参加申込みがあり、旅行会社とも相談しながら『7月号』そして『8月号』にも案内を掲載し、8月中旬に『17名』で最終締め切りとしました。

<3> 旅行手配正式依頼とハイキング地図入手依頼

参加申込者の『申込書』、『パスポート・コピー』そして『ホテル部屋割り（予定）』などを旅行会社にメール送付し、航空券とホテルなどの正式手配をお願いするとともに、改めて旅行代金の見積もりをしていただきました。

並行して、初めから『ハイキングコース地図』を探していましたが、「これだ！」というものが見つからず、何度も旅行会社にお問い合わせしました。しかし、日本の『山と高原地図（昭文社）』のようなものはなく、概略地図しか入手できませんでした。

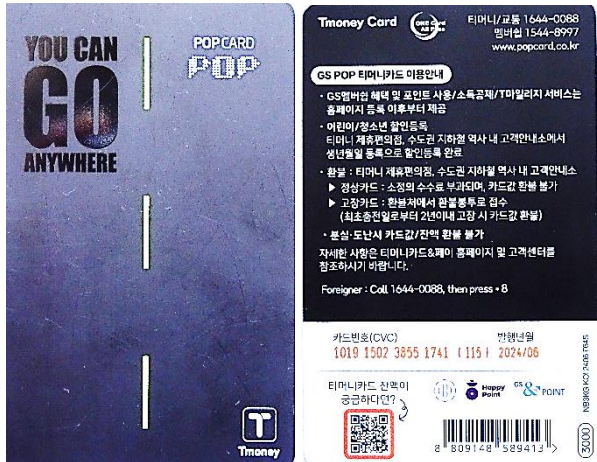
<4> 説明会開催

9月17日（火）に、鎌ヶ谷市中央公民館（東葛山の会で例会会場などとして利用）で、旅行会社担当者（社長）に来ていただき、参加者の顔合わせを兼ねて説明会を開催しました。

参加申込者 17 名全員が集まり、熱心に社長からの説明を一通り聞いた後、質疑応答に移りました。次から次と質問が出てきて、一つ一つ丁寧に説明をしていただき、参加者全員が「韓国ハイキングに行くんだ…」というムードが盛り上がった印象を持ちました。

更に、出発の準備をしていると、新たな疑問・不安などが出てくるので、出発直前の10月12日（土）に、Zoomで『不安解消・軽減（？）説明会』を開催し、次の事項などを説明・再確認しました。

- ① 持ち物（手荷物か機内預けか）
- ② 両替（参加者全員に一人当たり「5,000 円分」を現地で準備してもらう）
- ③ T-money（現地で地下鉄とバスを利用する際やコンビニなどでの買い物に使用）
- ④ 成田空港集合時間 1 時間前倒し（当初 12:00 → 11:00）
- ⑤ ホテル部屋割り（9/30 に 1 名キャンセル → 再度部屋割り）
- ⑥ チップ制は無いが、『チャーターバス運転手（往路・復路別々）』、『登山ガイド』、『日本語スルーガイド（黄さん）』にお渡しした方が好ましい…と判断。
→成田空港で「1 万円（上記②③含む）」を集合する…旨の了解を貰う。
- ⑦ 「パスポートを忘れずに持参してください…」と再三注意しました。



The image shows the front and back of a T-money card. The front (left) is dark blue with 'YOU CAN GO ANYWHERE' and 'POPCARD POP' text. The back (right) is white with Korean text detailing card features, contact information, and a QR code.

『T-money』（左：表面、右：裏面）

Suica や PASMO のようなモノです。

今回は、宿泊ホテルから登山口までの移動は、『地下鉄』を利用する…ということで、毎回チケットを購入するのでは大変なので、事前に現地ガイドに人数分を購入してもらいました。コンビニなどでの支払いにも利用できます。カード代：₩3,000-（約 330 円）

チャージ金額：₩17,000-（約 1,870 円）

適宜自分でチャージします。今回は、地下鉄とバス利用だけでしたので、追加チャージしなくて済みました。

<5> ハプニング続出

予期せぬことが続出した4日間でもありました。その中から幾つかを紹介し、今後類似のトラブルに見舞われないように、また、未然に防ぐための心得としていただければ幸いです。

- ① 自宅を出る直前に「眼鏡」を拭いていたら突然「右のレンズ」が外れました。ツル部分のネジが腐食して折れており、ネジは穴に残っており取り出すことができず、裁縫用糸で固定しました。「旅行中に糸が切れないだろうか…」と不安を持ちながら家を出ました。帰国後、眼鏡店で修理してもらいました。(私)
- ② 民間駐車場に車を預け、空港まで送ってもらい、集合場所に向かいました。ところが、それらしき場所が見つかりません。しばし周りを見て「出発フロアー」ではなく「到着フロアー」であることに気が付き、エレベーターを利用して事なきを得ました。いつも、「出発フロアー」に送ってもらっていたので、疑いもしませんでした。サービス内容を変更したのかも…。未確認です。(私)
- ③ 成田空港での出国手続きの際に、「パスポート」をどこにしまったのか分からなくなり通過に時間を要した人がいました。海外に行く場合は、非常に重要で大切なパスポートです。厳重にしまうのは良いのですが、どこにしまったのが分からなくならないようにしてくださいね。
- ④ 仁川空港での入国手続きの際に、機内で記入した「入国カード」を見失い、再度記入してやっと入国できた人がいました。パスポートと入国カードを一緒におくことをお勧めします。飛行機に乗っている時間+ α の短い時間だけです。
- ⑤ 北漢山ハイキング後の夕食のレストランへの歩きはとても辛かったです。「北漢山登山の最寄り地下鉄駅から10分」ということでしたが、歩いてても歩いてもなかなか着かず、やっと見えたと思ったら、横断歩道がなく渡れず、ズ〜と先まで行ってやっと横断しました(でも横断歩道ではありませんでした…。)。全員からブーイングが出たことは言うまでもありませんでした。

一方、ガイドの黄さんのお勧めのレストランということもあり、料理とビールには皆大満足でした。ホテルにはタクシー4台に分乗して戻りました。
- ⑥ 冠岳山ハイキングに向かう日の朝食時に「4名」が体調などを考慮して不参加となりました。夕食は、下山後ホテルに戻らず、途中で摂ることになっていたのも、ガイドの黄さんに電話をかけ、状況を説明し、「ホテル15:00に迎え」をお願いしました。4名は自力で観光と昼食を楽しんだようです。夕食会場ではお互いに笑みで再会しました。突然の一方的なお願いに対して、快く対応していただきました黄さんに感謝です。黄さん、ありがとうございました。
- ⑦ 帰国日、仁川空港にバスで向かいました。降りて直ぐチェックインカウンターを探しましたが、『大韓航空』は見当たりませんでした。勿論、出発案内にも私たちの搭乗するフライトの表示がありませんでした。

やっと、ターミナルが間違っていたことに気が付き、スーツケースを持って

シャトルバスで移動しました。乗車時間が長いこと長いこと…。
時間に余裕を持って行動していたので、大きな問題にはなりませんでした。が、「こんなこともあるんだな…」と再認識した次第です。



<6> 食事

夕食3回(10/18, 10/19, 10/20)と昼食1回(10/21)をガイドの黄さんの紹介・案内で、毎回異なる韓国料理を地元のビールとマッコリを飲みながら堪能しました。

全ての料理に全参加者が「旨い!」、「美味しい!」と声を上げていました。私も大満足の食事でした。特に『2日目(10/19)』の北漢山下山後の店自慢の特製『タッカルビ』は気に入りましたね。「独特の味と辛さ」に魅了されました。

また、2度の登山の際の昼食用に購入した『キンパ』は、ハイキングの際の食料としては絶品ですね。日本でも登山口の最寄り駅周辺に類似のものがあると便利だな…と思いました。購入した時は、「昼食用として、これ1本で十分かな…?」と思ったのですが、いざ食べてみると満足のいく十分な量でした。

一方、ホテルの朝食は、「パサパサした食パン」でしたので、ただただ強引に紅茶で流し込んだ…という満足感のないものでした。これが3日も続いたのです…。

昼食と夕食は大満足のソウル滞在でした。

<7> スルーガイドの「黄さん」

仁川空港でお会いした瞬間から、非常に親しみを感じました。特に、バスの中での自己紹介が印象的でした。

「私に声をかける時は『綺麗なファンさん』と呼んでくださいね…!」

それ以降、いつも「綺麗なファンさん!」と先ずは切り出して、色々なことを相談そしてお願いをしました。その都度、懇切丁寧に対応していただきました。不慣れた土地で心強いガイドさんでした。安心して、「任せ、頼り…の4日間」でした。

綺麗な黄さん、ありがとうございました。

<8> 登山ガイドの「權さん(日本語OK)」と「李さん」

北漢山と冠岳山のハイキングを案内してもらいました。

『山岳ガイド』ということでしたが、ホテルで紹介された時の服装にびっくりしました。というのは、登山時のズボンとしては推奨されないジーパンだったからです。

登山道の至る所に標識はあるのですが、『ハングル語』なのでチンプンカンプン…。所々に、英語、中国語、そして日本語(カタカナ)が併記してあり何となく分かるのですが、2人がいなければ自信をもって歩くことはできなかったと思います。お二人の案内で楽しく歩くことができました。心強いガイドさんでした。

登山前の準備体操は極めてユニークで、自然に笑みがこぼれ、気持ちよく歩きだすことができました。

權さん、李さん、ありがとうございました。

<9> 降りた駅から歩き出せる…

30 分前後の乗車で『地下鉄』の駅を降りたら、直ぐ登山ができる…というのは、山歩きを趣味とする私達にとっては嬉しいことですね。『六甲山』を何度かに分けて歩いた時のことを思いだしながら花崗岩の道を歩いていました。コース途中から眺めるソウル市街の景色も神戸の街を眺めているようにも思えました。

ソウル周辺には、手ごろなハイキングコースが沢山あるようで、ネットには、『ソウル 5 山』という言葉も見受けられます。今回はその中の『2 座』を歩いたので、残りの『3 座』も是非とも歩いてみたい…と思っています。

街中の舗装路に埋設→



<10> おわりに…

大きな問題もなく、参加者 16 名がハイキングを楽しみ、韓国料理と地元のビール、そしてマッコリを堪能し、思い思いのお土産をゲットし、無事帰国できたことは、企画した者として嬉しい限りです。併せて、ホッとしています。

また、参加の皆さんから、「思っていた以上に歩きであり楽しかった…」、「夕食や昼食は美味しかったね…」、「また来たいね…」などという声を耳にすると、企画者冥利に浸る瞬間でもあります。

参加者の皆さんのご協力で、今回の海外ハイキングを無事終了できたことを感謝します。また、旅行の手配をしていただきました旅行会社『ワイルド・ナビゲーション』の『宮田社長』、現地でお世話になりました『黄さん』、『権さん』、『李さん』に感謝申し上げます。ありがとうございました。直ぐにでも、また韓国を訪れたいと思っています。

ソウル・タワー

北漢山



Naksan Park からの大展望（スイング・パノラマ撮影）



帰国日（10/21）午前の市内観光（Naksan Park：ナクサン公園）

雨は降っていません！ 目印です！

韓国：紅葉ハイキング（北漢山と冠岳山）に参加して

石塚 洋子（東葛山の会）

北漢山は836m、筑波山は877mで、高さはそう変わらないですが、頂上近くが一枚岩のようでした。そこは、手すりのある登り坂ですが、ステップが切ってなく、両手を使い登ります。登り専用があるのですれ違いはありません。下り是一片岩の下まで自由にどこでも歩いてOK。多少スリルが味わえます。

ホテルから地下鉄で数駅なので、気軽に登れる山です。沢山の人々ととても混んでいました。頂上は韓国の旗がたなびいています。

韓国の海苔巻きキンパを買って、ピクニック気分で紅葉の中、周回コースの楽しい登山でした。しかし楽しいのはここまでです。

夕食のレストランへの道路歩きが長く、ものすご〜く歩き疲れてしまいました。野菜の葉でお肉やタコを包む料理が美味しくて、ビールが進んでしまいましたので、もう、歩いて駅まで行って電車で帰る気がしません。皆さんも同じ気持ちです。安彦さんが考えてくださって、レストランからホテルまでタクシーになり、ほっとしました。

翌日の**冠岳山**は629m、ここも地下鉄で数駅、やはりキンパを買って登山します。

頂上は大きな一枚岩。どこを登ってもいい感じです。冠岳山の字を入れての写真を撮る列は激混みで並んでいます。

下りは違う道へ縦走です。近道ということでしたが、岩々の道でストックをしまい、高さのある登りは羽鳥さんに引っ張ってもらいました。

下山口からバスを2回乗り換え、夕食のレストランへ。「鳥鍋」でした。



キンパ



山に登る前に体操をしたのですが、ガイドさんの軍隊調の掛け声が面白く、楽しく、皆で声を出しながら体操をしました。なせが上半身だけの体操でした。

今回の韓国の山はソウルから近く、低山ながら岩もあるし変化に富んでいてなかなか良かったです。

ソウルは盆地のようで、山が取り巻いています。「また韓国の他の山にも行きたいな〜」って思いました。

他の会の様子も聞けて、皆さんと楽しく登山ができ、感謝です。

冠岳山からの岩稜下り（近道だって…ん?!）

ソウル 1 の観光名所『景福宮』見学

猪狩 晃一（東葛山の会）

前日の岩山で膝をくじいて違和感を感じたことから【ここは外国、何かあれば迷惑度が大きくなりかねない】と判断。朝食の時その旨を話し今日の登山の不参加を申し出、了解を得た。わたし以外に不参加希望者がおり計 4 人となった。

予定は私自身何をしたら良いのか悩んで居たら『残留組の 1 人が景福宮見学』を提案され、内容も良い事から全員賛成し同行させてもらう事になった。大いに感謝でした。

景福宮は韓流ドラマや映画にも数多く登場している、世界遺産ではないが韓国観光のシンボルであると言う。

韓服をレンタルして、チケット売り場でパスポートを提示すると、景福宮に無料で入場できる。韓服を着る機会はなかなかないので、韓流時代劇の主人公になったつもりで景福宮を巡るのが定番の様で、見学者の半数が韓服を着ての見学者のようです。何とも異様な風景。王朝時代にタイムスリップの錯覚。景福宮周辺には韓服のレンタルショップがあり、ヘアセットまでしてくれそうです。

景福宮の歴史

景福宮は日本では室町時代だった **1395 年に創建**された王宮。約 200 年に渡って政治の中心でもあったが、1553 年の大火、1592 年「文禄・慶長の役」の戦火によって焼失。その後 270 年以上もの間、再建されることはなかったが、1868 年に創建当時の規模にまで復元されたものの、再び王宮としての役割を担ったのはわずか数十年あまり。1910 年の日本による韓国併合後、勤政殿や慶会楼などを除き取り壊されてしまった。

1945 年の解放を経て、**1991 年に復元工事が起工**。現在も復元工事が進んでおり、完了予定は 2030 年とされている。

主な見どころ

高化門

正門として焼失と再建を繰り返した後に移築されたが 2010 年に元あった場所に復元された。正面の高化門広場からは白岳山の堂々たる稜線が見える。

高齡門

高化門をくぐった先にある中門で、1916 年に壊されたが 2001 年に復元された。

勸政殿

景福宮の正殿で、正式行事や外国から使節団の接見などに利用され、玉座の頭上に天蓋があり、その内側には王の象徴とも言うべき龍の装飾が施されている。

慶会楼

池の上に建てられた楼閣で国宝に指定されている。王と使臣との接待の場でした。



韓服のレンタルショップの街並み



高化門の外堀



勸政殿の建物



園内で遊ぶ観光客



慶会楼と白岳山背景に撮影



良いですね！



王朝時代のお姫様の笑顔

『北漢山』と『景福宮・市場 街歩き』

井上 勝代（東葛山の会）

ソウルに着き 2 日目北漢山を目指す

地下鉄を降りてドーンと目にとびこんできた“岩山”に驚きと感激！

坂道で昼食用の“キンパ”なる太巻きを求め、現地ガイドさんによる体操（これが手を動かすだけのような体操で、少々拍子抜けの感あり）をしてから登山口へ向かう。

登山口からは急登が続き、大きなトレラン大会の出場者が駆け下りてくるのを交わしながら進む。時折 松の木や雑木越しに”岩山“が見え、一方にはソウルの街にそびえ建つ高いビルを 5 山が取り巻く姿は、動画を見ているようで圧巻。ソウルがこのように配置されていたことは知らずにいたので、無知ぶりを反省。

岩登り専用と思われる山には岩山を上っている人々が見え、紅葉もあり素晴らしい景色。SL が私の後ろからサポートしてくださりととても安心しながらの岩山上り。途中頂上は見えたがとにかく”人“の列でなかなか進まない。やっとのことで頂上に着くも全員写真を撮るのが大変。次の撮影を待つ方々に申し訳ないほどの混雑に、風もあり、周りの景色を見る余裕なし。



下りは滑らぬよう気を付けたが、予想より滑りはしなかった。ところが、ほぼ下に降りたあたりから腰に違和感を感じ、翌日への不安が全身によぎる。SL からも少し体の歪みのあることを知らされる。食事処に着きタクシーでホテルに帰ることを聞き安心。

3 日目冠岳山を諦め「景福宮」へ

登る支度をして朝食を済ませ部屋に戻る途中足腰にやはり不安を感じ、これ以上の無理をしてはいけない…と判断して同室の人に伝え、残念ながら登ることを諦めたことを CL に届け、了解を得る。

部屋へ帰りながら廊下でその日 1 日どうしようかとつぶやいたら、他の会の方がすぐに観光用の本を届けて下さり、安堵。ありがとうございました。

登る 12 名を見送り、残 4 名で「どうしよう…」と話した時、一人の方が行きたい

所があり、その道順も分かっているとのこと。その案に無条件でのせていただく。行き先は「景福宮」。

殊にこの日は日曜パレードがあるとのことにて地下鉄で、その方の指示どおり急ぎ、たどり着くことができた。パスポート有りて65歳以上はフリーパス。パレードのある場所を目指し急いだ、その気配がなく、日本語HISガイドに聞いたら“本日のパレードは中止”とのこと（理由はわからぬと）。

あたりには民族衣装チマチョゴリを身に着けた人々が多く行きかい、「楼閣」は水に浮いているようでとても美しく、日本の統治時代には解体されたという建物が見事に復元され、韓国ドラマを見たことは無いが、その広大な建物の中での生活をストーリーとして想像することは容易だと思った。

国立民族博物館などみて、館員さんに駅近くの食べ物屋さんを教えていただき、4人でその方向へ行くと、ほんの50m位の“路地”に待ち人の多い店があり少し待ってそこに入る。日本語の通じる店員さんがいて、ラーメンは単品では頼めなく他の品と一緒に頼むようにとのことで、4人でラーメン2つと他3品を頼み、おいしく食することができた。隣の席から日本語を話す3人の若い女性がいたので“どこから？どうしてここに？”と尋ねたら、“名古屋からで、一昨日来たらおいしかったから”とのことで、多分ガイドブックの紹介では…と思われるが、おいしいところに偶然は入れたことはラッキーだった。

お店を出て地下鉄に乗りホテルに戻り14:45、朝CLが頼んでくださったガイドさんとの待ち合わせ15時。ガイドさんプラス4人でバスにて（バスをガイドさん提案）「市場」へ。買う目的でなく、見ることを楽しもう、とのガイドさんからの助言。日常品を中心に見歩き楽しかった。

しばらく歩き山から下りてきた12名と合流。皆さん口々に“昨日より大変だった、行かなくて正解だったかも…”と言われ、きっとそうだった…と一人納得。



4日目、昨日とは異なった市場へ、そして帰国

市場はさっと通りすぎたような感じであったが、ガイドさんが勧めてくださった「各種ナッツを飴で固めたもの」が帰国後、好評であった。

ぐるっと回ってホテルに戻り昼食。バスにて空港へ。どうしてもわからないが乗り場の変更があり、20分ほど空港内のバスで移動。その後いつもの行程を経て成田へ帰国。帰宅ジャスト22時。

あっという間に過ぎてしまった4日間であったが、不勉強の割にはとても楽しい旅だった。

韓国・紅葉ハイキング 北漢山と冠岳山

江崎 昌子（東葛山の会）

10/18（金）

成田空港に午前 11 時に集合し、午後の便でソウル（仁川）空港に向けて出発。2 時間 30 分程で韓国に到着。広くてきれいな空港。スーツケースをガラガラ引いて市内のホテルへ。夕食は近くのお店で早速美味しいキムチ鍋の料理を頂きました。

10/19（土）

ホテルより歩いて地下鉄に乗り、北漢山の登山口へ向かう。

緩い坂を登り、途中の店でキンパという巻き寿司（酢めしではない）を 1 本買い求めザックに入れる。キンパが昼食です。北漢山（プッカンサン）標高 836m・・・高くない。そんな難しい山ではないなあ～と思って参加しました。

ところが全山岩山、斜面は急な箇所が多く、階段階段そして岩の斜面をトラバースしたりとちょっと怖かったです。山頂直下では、写真撮影待ちの大行列。しばらく待って全員で記念撮影。パチリ！ソウルの街並みが一望に素晴らしい！

下山も一步一步慎重に。

天気に恵まれ気持ちの良い山歩き楽しむ事が出来ました。
（ちょっと怖かったですが…）



10/20（日）

昨日とは反対方向へ向かう地下鉄に、冠岳山（カナクサン）登山口へ向かう。

やはり途中でキンパ巻き寿司を買い求め昼食とする。

北漢山より若干低い標高 629m、やはり岩山。登山道は御影石の岩山の急斜面。登り下りも多くちょっと怖い。急な階段もあるが・・・。

頂上直下は山頂を目指す人で順番待ち。山の最高峰はヨンジュデ（恋主台）若い恋人達でいっぱい♡。私達のようなじじばばの姿は見えず。それでも全員の記念撮影をパチリ！下山はソウル大学を目指すルート。登りより歩きやすい。ソウル大学が見えた時はホッとしました。2 日間の岩山登山が無事終わりました。

10/21（月）

午前中、市場見学。逸れないようにガイドさんの後ろを見失いように必死に歩き。昼食後、空港へ向かい 3 泊 4 日の山旅が終了となりました。

リーダーの安彦さんありがとうございました。素晴らしい経験をする事ができました。ツアーガイドのファンさん、登山ガイドのお二人ありがとうございました。

カムサハムニダ (ありがとう 韓国)

大賀 晶子 (岳人あびこ)

18日成田空港から韓国ソウルへ

10年ぶりの海外旅行になるので、パスポートの延長を申請して韓国ハイキングに臨みました。

友人から「空港に着くとキムチの匂いがするよ!」と聞かされており、「匂うかな?」と期待していましたが残念ながらそんなことはなく、仁川空港は広くて綺麗でした。

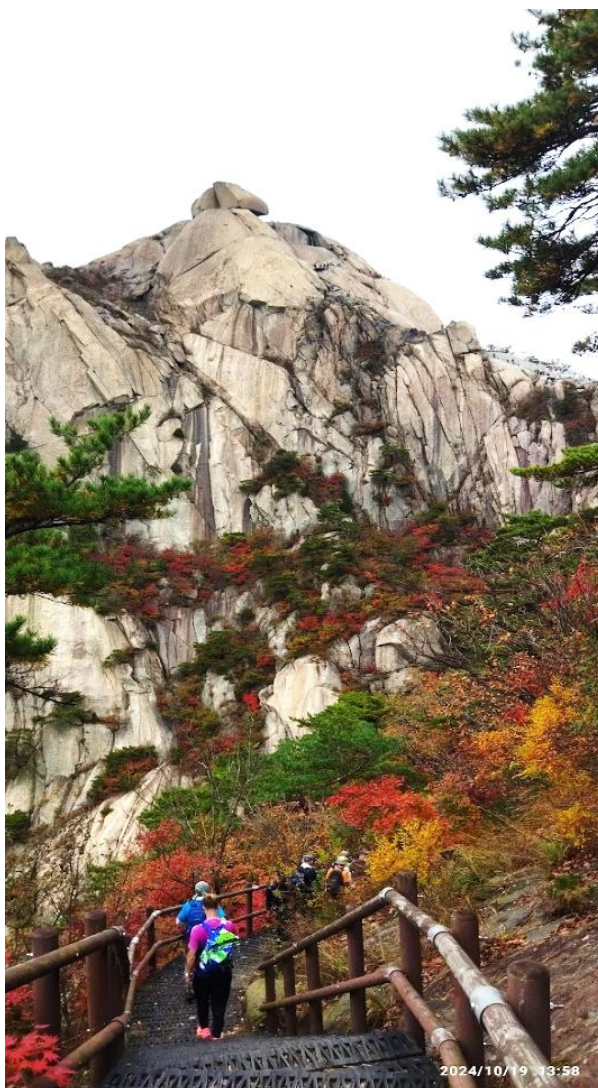
バスに乗ること1時間少々でホテルに到着。

部屋のベッドはキングサイズで浴室はシャワーブースとジャグジーのバスタブがついたゴージャスな作りで凝っていました。

19日は北漢山ハイキング

3時間歩いた道の目の前に急にドーンと大きな垂直にそびえる岩の塔が…「えー、これからあれを上るのか?」と心配に、でも行ってみたらしっかりとした鉄の杭が打ち付けられており、腹筋を使って「よいしょっと」とよじ登ると、思ったより早く頂上に着きました。

終わってみると面白かったです。体感的にアトラクションみたいでした。



20日は市内観光

朝起きたら膝の調子が思わしくなかったのも、他の山の会の方々と一緒に街歩きの観光旅をしました。地下鉄の駅の乗り換えはガイドブックを見ながらできたのですが、果たして進行方向はどっち??皆で考えて「あ、こっち、こっち!!」と頭の体操、なんとか目的地の『景福宮』と『国立民族博物館』を見学してきました。チョゴリの衣装を着ている観光客が建物の前でポーズをとっている姿は情緒たっぷりで「ここは韓国なんだ」と実感できました。

異国の地で全く言葉が通じなく、またハングル文字はチンプンカンプンで困ります。初めてお会いした方たちだったのにいつの間にか仲良くなれて、小さな冒険旅楽しかったです

景福宮(キョンボックン)とは、朝鮮王朝時代に建てられた王宮の中で最も大きい宮殿。近くにチョゴリなどの衣装がレンタルできるお店があります。あちこちで写真撮影されていました。



おいしいものたくさん食べました。キムチ、タッカンマリ、トッポギなどなど…。下の写真は冷麺です。麺が白滝のように柔らかくて日本で食べるのとは違う感触です。美味しかった!!! スープの中にキムチと甘い梨が入っています。



韓国旅行 4 日間

川口 光雄（かがりび山の会）

こんにちは。川口です。

この度県連の皆様方と韓国の山歩きと観光に行ってきました。

わが会からは私一人だけですので東葛山の会の羽鳥様にお願いして、新鎌ヶ谷で合流して第一ターミナル迄一緒頂きました。（以降ホテルも一緒でした）

初日：10月18日（金） 雨のち曇り【成田＝仁川】

大韓航空にて午後2時、雨の中のフライトでした。雲の上は青空が広がっていました。機内食は韓国ビール付きで口当たりよく、以降4日間は同じ銘柄のビールを注文して飲んでいました。大韓航空の添乗員は、日本語は話せなかった様子でした。

雨上がりの仁川空港に着く。

機内で書いた入国証が見当たらず書き直すが、ホテル名がわからず羽鳥様に教えて頂きました。皆様には30分ほど待たせご迷惑をおかけしました。

出迎え頂いた黄宝美（ファン ボミ）さんは日本語が堪能で、「私の事は奇麗なお姉さんと呼んで下さい…」とか言って楽しい方だと思いました。

専用バスでソウルへソウルのホテルルネサンスに7時半過ぎ着、8時半夕食。食堂で前祝をして就寝

2日目：10月19日（土） 晴れ 北漢山登山

5時の目覚ましで起き準備。朝食はおいしく頂ける。

8時半登山ガイドの権さんと李さんと共に16人全員が元気に出発。

地下鉄を乗り継いで北漢山牛耳駅から歩く。休日で晴天ということで多くの市民が軽装で歩いてます。「キンパ」という巻きずしが登山客によく売れている。

この辺は、北漢山国立公園でよく整備されて感心しました。

広場で韓流準備体操をして、少し先の登山口から登るが、のっけから急登。しかも今日はソウル100キロマラソン（トレラン）とのことで、上からドンドン走って下って来る。

譲ったりして時間がかかる。

紅葉は所どころ見れたがまだ少し早かった。それでも花崗岩にとりついた辺りは見事な紅葉でした。花崗岩と紅葉、見事なコラボです。こんな低山なのにアルプス的な山容は日本では見れません。



山頂手前 100mからは停滞気味。急登なので鉄の手すりをしっかり持って待ちました。お陰でゆっくり紅葉の山々を堪能でき、眼下にはソウル 1 千万人が住むタワーマンションが白く輝いているように見え感動しました。

1 時間余り待ってやっと山頂へ。混雑しているので記念写真は団体だけにしてさっさと下山にかかる。

分岐迄一方通行の上り下りを慎重に降りる。分岐から 2 キロ弱だが足元は悪くバランスが崩れます。

10 年ほど前から左に傾きながらの下山になって「ピサの斜塔歩き：祖母傾山」とも言われています。そんな私の歩き方を見てガイドの方に「明日の登山は控えて下さい」と言われ、ショックを受ける。結果的に、ジャンダルム的な山だったらしく「行かないで正解でしたよ…」と言われ、逆に、ありがとうございました。



3 日目：10 月 20 日 晴れ 観光

今日は、4 人で「景福宮」と「韓国歴史博物館」を観光する。岳人あびこの大賀さんと東葛山の会の猪狩さん、井上さんのお陰で古宮に行く。心強い方達です。

パスポート見せれば無料で入れます。

休日は兵隊さんのパレードの日でしたが、間に合いませんでした。

世界各国の観光客がチョゴリ服を楽しんでいました。

景福宮は松と柳がよく手入れされており、歴史博物館では韓国の今昔を学び良かった。

外に出て 4 人で韓国料理の美味しい店を見つけたのもハッピータイムでした。

黄様と合流してソウルのでっかいボロ市を見物して回った後に、山組と合流して鶏料理を食す。

4 日目：10 月 21 日 晴れ 観光と帰国

最終日はソウルの小高い丘に登り、黄さんに色々と見える建物を説明して頂きました。降りて、商店街の大きな市場で個々に買物を楽しみ、ホテルに戻り食堂で最後の韓国料理（昼食）に舌鼓み。

私は、冷麺を頂き日本では岩手県が有名と教えて頂きました。

専用バスで空港に行き夕方 5 時過ぎのフライトで帰路につきました。

初めての韓国旅行はドジりましたが、皆様方の協力のお陰で楽しむことができました。とりわけ安彦様、羽鳥様には大変お世話になりありがとうございました。感謝です。

感動の北漢山には再訪座したいと思います。

韓国紅葉ハイキング

桐生 千恵子（東葛山の会）

成田空港出発ロビーで県連の皆さんと合流。3泊4日の山旅にワクワクです。

韓国のインチョン空港にガイドのファンさんが出迎えてくれていた。大型バスに16人でゆったり座り、ソウル市内に向かって走る車中から暗くなった街をながめる。ホテルに荷物を預けてお楽しみの夕食に向かう。

今回の海外ハイキングでは、山も楽しみだが、韓国料理も期待して参加した。キムチも辛い料理も好きなのです。早速ビールで乾杯です。度数が低くてとっても飲みやすいビールです。

次の日は『プッカサン』ハイキングです。ホテル前から二人の山ガイドに案内されて地下鉄で登山口へ向かう。降りた駅から歩き始める。ゆるい坂道にはハイキング用品の店も美味しそうなパンも並んでいる。皆で昼食用の韓国のり巻き『キンパ』を買う。日本円400円しないらしい。安くて美味しそう！！

登山口に入る前に「あれがプッカサンですよ」「えー大きな岩山」。標高から筑波山を想像して参加したので緊張してきた。やっぱり登山靴を履いてきて良かった。もう少し軽めの靴でもいいかな、と思っていたがzoomの打ち合わせでリーダーから登山靴を持ってくるように言われて登山靴をトランクに入れてきた。

紅葉が始まっている登山道を行くと山の中に大きな門が現れた『大東門』と記されていた。そこから延々と城壁があり道は壁に沿っていた。大きな岩の山が近くなると、道の両側には手すりや鎖が山頂まで付けられている。山頂まで人・人・人で山の頂で記念写真を撮りたい人達の行列が進まない。何とか記念写真を写して下山した。



『クァナクサン』では山の中に大きなお寺が現れビックリと、お寺のトイレを借りたが石段を下りること、下りることトイレが遠くてビックリ！山頂からの眺望は抜群に良い。周りを山に囲まれたソウルの街が素晴らしかった。

下山路は岩稜帯の稜線で、鎖もロープもないので、緊張して少し怖かった。どこに足を置こうか迷っていると韓国青年が手を差し伸べてくれた。助けられて無事に下山できました。

チャンスがあれば、又、韓国の山に行きたいと思っています。

～北漢山（白雲台）・冠岳山～

小泉 香織（ちば山の会）

（山行日） 令和 6 年 10 月 19 日（土）・20 日（日）

（天候） 晴れ

（コース・山行タイム）

10 月 18 日（金）成田は雨：ソウルは曇（移動日）

11:00 成田空港・第 1 ターミナル北ウイング集合⇒大韓航空 704 便 14:00 発が 30 分以上遅れる⇒17:00 仁川空港着⇒大型バスで宿泊先の DH ルネッサンスホテル着⇒ホテル近くに夜ご飯食べに行く⇒コンビニ買い物⇒ホテル戻り

10 月 19 日（土）ソウル晴（北漢山：周回コース）距離 10.9km ↑1042m ↓1033m

ホテル 8:30⇒地下鉄移動。清信女子大学駅⇒北漢山牛耳駅着⇒キンパ買う⇒登山口⇒大東門⇒北漢山休憩所⇒北漢山山頂（白雲台）⇒管理センター⇒寺⇒登山口に合流⇒牛耳駅を通り過ぎ、さらに舗装路歩くこと 20 分位⇒夜ご飯のお店着⇒タクシー⇒コンビニ買い物⇒ホテル戻り

10 月 20 日（日）ソウル晴（冠岳山：突き通し）距離 8.7km ↑810m ↓672m

ホテル 8:30⇒地下鉄移動⇒キンパ店⇒高級住宅街を通る⇒登山口⇒寺⇒尼寺宿坊？⇒冠岳山⇒ソウル大学⇒バス 2 本乗り継ぐ⇒地下鉄移動⇒夜ご飯のお店着⇒地下鉄 2 駅⇒ホテル着⇒コンビニ買い物

10 月 21 日（月）ソウル曇（観光&帰国）

ホテル 9:00⇒地下鉄移動⇒ナクサン公園⇒東大門市場⇒ホテル戻り 12:00 チェックアウト⇒18 日夜と同じお店でお昼ご飯⇒コンビニ買い物⇒大型バスで仁川空港へ⇒第 1 ターミナル。間違えました。空港無料バスで第 2 ターミナル⇒空港免税店で自分の土産を買い込む⇒大韓航空 713 便 17:10⇒19:45 成田空港着⇒解散！

（山行報告）

出発 3 日前まではソウルは雨予報。だが、直前になってピーカン！！ 最高でした。

【北漢山（白雲台）】

韓国ソウル市内最高峰。といっても 836m の低山ですが、花崗岩のダイナミックさと山容はとても低山とは思えない迫力と美しさを持っていました。

また、都心にあり、電車で直ぐの利便性もあり、沢山のハイカーさんが訪れていました。大東門から山頂、寺の周回コースで歩いてきました。

特に大東門コースは萬景台・白雲台・仁寿峰の 3 座を眺めながら歩けます。

ワクワク心と足が止まること必須です（笑）

駅から歩くこと 30 分。途中、キンパ買います（日本で言うのり巻き）円だと約¥350。

安い！登山口からは高尾山みたいな道（昔の稲荷山コースみたいな感じ）が続きます。標高が上がるに従い、階段や岩稜が出てきます。

山頂直下は岩です。といっても、手すりがあるのでラクです。

道は全てキレイに整備され、大変歩きやすいです。

ある程度山に登られている方なら気軽に登れるかと思います。山頂まで長い行列で、

たどり着くのが大変です。韓国の方、写真好きですね〜。納得のいく写真が撮れるまで時間かけて撮っていました。それでも、皆、文句言わない！（そりゃそうだ。皆時間かけている）私は後ろの方に申し訳ないと思ってそそくさ写真撮って貰ったけど。

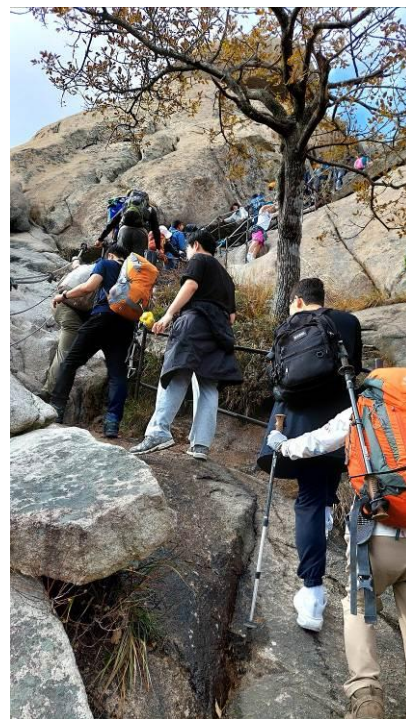


向かって左から
萬景台(799m)
白雲台(836m)
仁寿峰(810m)

1000m 以下の低
山とは思えな
い、美しさと存
在感のデカさ。



真っ白花崗岩
と紅葉のコン
トラストが本
当にキレイだ
った。



山頂付近、
大渋滞。

【冠岳山】

2 日目は、ソウル市内「冠岳山」です。

やはり花崗岩のお山ですが、日本だと「高尾山」でしょうか？

ハイカーさんも多く若い方が多いのも特徴的でした。

ソウル市内が一望出来、激しいアップダウンもなかったです。

寺院を過ぎると木階段の連続ですが、1 段の高さもいい感じ。

山頂は人人人…ですが、昨日、免疫作りました（笑）

下りの岩場は現地登山ガイドさん達オススメコースでしたが、思いの他岩稜地でした。

下山口に待ち構えていたのは、ソウル大学でした。



ソウル市内一望
ロッテタワーだ！



ある程度の高度まで登ると岩稜帯と木階段登って行く。



赤い建物が「恋人達の聖地」といわれているらしい。



どうやらここが山頂みたいです。

【ご飯】

朝食はホテルのバイキングで毎日代わり映えしなかったけど、お夕飯は毎回期待度を上回るお料理でした。

18日（金）キムチ・前菜数種。（既に旨し！）、サムギョプサル（豚バラをカリカリになるまで焼くのが旨い）、すき焼きみたいなやつ

19日（土）キムチなど前菜数種&巻く葉物野菜のバイキング（マジ旨い）、牛肉と野菜の炒め物&タコと野菜の炒め物（私はタコの炒めものがかなりお気に入りだった）、おこわみたいなご飯、チゲ鍋

20日（日）鍋（トッポキ（日本だと棒餅みたいなやつ）、ネギ、ジャガイモ、砂肝（鍋に合う！）、鶏1羽ぶつ切り

これを生ニラと特性たれで食べた。旨すぎて隣の席の残したお肉まで食べたそして、韓国のビール「CASS（カス）」が凄く美味しい！ 毎食飲んだ。

お昼は行動食でキンパを食べました。街道の至る所にテイクアウトのキンパ屋さんがあります。

お店によって具材や上にかかっているゴマ油の量の差はあったけど、沢庵付きで¥350は安い！夢中でパクパク食べました。



韓国ビール「CASS」
めっちゃ旨い



無言でひたすら食べた鶏鍋



キンパ。日本で言う
海苔巻き

【お土産】

韓国の7-11がお気に入りになり、夜な夜な通っていました。

おにぎりやサンドウィッチ系はほとんど無いです。日本では見かけないお菓子が多く、特に「オレオクッキー」の謎な「シナモン味」「チョコミント味」はお土産で大変喜ばれました。

ソウルのコンビニは現金対応不可能の場合が多いです。「おつりの小銭が無い」とバツサリ言われてしまいます。

韓国の伝統菓子「菓菓」も前から食べてみたかった一つです。サーターアンダーギーを激甘にした感じでした。

そして、韓国の皆さんお肌がとってもキレイ！バスの運ちゃんまでキレイ！

気付いたら自分用に顔パック 50 枚、ほうれい線パック 20 枚、リフトアップパック 30 枚も買ってしまった！！

【現地通訳&現地登山ガイド】

現地通訳の黄（ファン）さん：いつも明るい黄さん。肩をポンポン叩いて「いっぱい食べるんだよ」っていつも気にかけてくれたね。

現地登山ガイドの李（リ）さん：韓国のナンチャラ山（現地語で良く分からなかった）に登りに来てねと言われたよ。

現地登山ガイドの権（ゴン）さん：ゴンさんは仕事で頻繁に東京や大阪に来日するそう。ゴンさんに『日本に来た時に一緒に山を登ってくれませんか？』とお誘いが！もちろん！喜んでだよ！

ゴンさん！



通訳ガイド：黄さん



登山ガイド：向かって左から権さん、李さん

【その後&御礼】

ゴンさんから休憩中に高麗人参入りのジェルを頂き、飲んでみたところ、これが凄い活力となった。恐るべしっ！ 生薬&高麗人参。で、帰国後、「高麗人参」と言えば「ユンケルだ！」という訳で早速取り寄せ、今はお山のお供になっています。

（ビンなのが最大悩み）

ニラを生で食べたのは初めてでした。今は積極的にニラを生で食べています。
今回素晴らしいソウル山行を企画された東葛の安彦様には大変感謝しています。
目配り気配りでお疲れになったと思います。私は大満足でした。
ご参加された皆様にも御礼申し上げます。会の枠を超えて、笑い合い、皆さんとはお友達です！



<小泉の9月&10月山行>

9月山行

5・6日（木金）五竜岳～唐松岳
15日（日）棒ノ嶺～高水二山（惣岳山）
20・21日（金土）尾瀬（尾瀬沼～尾瀬ヶ原）
23日（月）両神山
28～30日（土～月）岩手山～八幡平～安比高原 50kmトレイル（裏岩手連峰縦走）
本州一早い三ツ石山の紅葉がとっても素晴らしかったです！
2日後、岩手山は火山活動2に引き上げられて全入山禁止となりました。

10月山行

6日（日）大菩薩嶺
4度目の大菩薩嶺だが、1度も雷岩や峠からの素晴らしい眺望に出会ったことがない。
13・14日（日月）富士箱根トレイル（富士山須走5合目～金時山）
距離約 50km ↗2588m ↘3876m
金時山は3回目だけど、相性がいつも良くて大好きな富士山に毎回出会います。
金時山は今回で全てのルートを網羅したと思う。
19・20日（土日）韓国ソウル近郊 北漢山（白雲台）・冠岳山

おしまい

韓国ハイキング（北漢山 836m & 冠岳山 629m）に参加して

小島 洋子（岳人あびこ）

10月19日（土）と20日（日）、上記の2山を歩いて満足しております。

標高が高くありませんので、筑波山程度の山を想定して臨みました。しかし、岩場の山で緊張を強いられました。

北漢山・・・

地下鉄を出て目の前に巨岩の山が高くはありませんがそびえておりました。最初からきつい登山道です。しかし、樹木が色づき紅葉がとてもきれいでした。特に楓の赤は見事でした。北漢山山頂に登るときは鉄棒がかけられています。鉄棒をしっかりつかまての登攀です。鉄棒を外したら落ちるのではないかと緊張もピークでした。頂上に達したときは達成感で満足でした。

この日は土曜日のため、登山者も多く頂上に達するまで、かなりの混雑でした。



冠岳山・・・

登山2日目、登るルートがいくつかあるので、巻道で行きました。

少し登ったと思ったら、山のふちを歩きますので行程が長く感じました。頂上近くにお寺がありました。トイレに行きますのに、かなり長い坂を下らないとありませんでした。



さて、しばらく行きますと冠岳山頂上です。「冠岳山」の史が立っており、記念撮影を一人一人撮りますので、なかなか順番が来ませんでした。

下山は違う道を帰りました。北漢山ほどではありませんが、岩場なので緊張をしました。

北漢山(836m)に登って

嶋本 道子（東葛山の会）

ソウルで一番高い山、北漢山国立公園にある北漢山に登りました。
地下鉄「北漢山牛耳」駅で下車、途中でお昼のお弁当に「キンパ(3500₩)」を買ったり公園で準備体操をしたりしながら約1時間歩きました。

白雲案内所、ここからいよいよ山道です。当日はトレランの大会もあり、すれ違いに気を使いました。登山道は岩がゴロゴロして、足場が危ない所は頑丈な鉄の階段が設置されています。

この日は週末で登山客も多く一列に並んで歩くのは私達だけ。バラバラにドンドン追い抜いていきました。若者が多かった気がします。

紅葉を期待していましたが、今年の暑さのせいかモミジが所々で赤く色づいている程度でした。

頂上に近づくにつれて花崗岩のダイナミックな地形に変わりスリリングな岩登りが始まりました。景色が良いので高度感があり、足元はステップも切ってなく、手の力を頼りに登り緊張しましたが、手すりはしっかり付いているので安心して登ることが出来ました。しっかりした登山靴を持ってきたので滑ることもなく良かったと思いました。

頂上では撮影待ちの長蛇の列。韓国の国旗がはためき高山を制覇した様な気分。周りは360° パノラマ。眼下にソウルの街並みが白く見え、山で囲まれて自然豊かで素晴らしいところでした。

隣の岩山、仁寿峰(インスボン)では、目を凝らしてみるとロッククライミングをしている人がいました。韓国のヨセミテと言われているらしいです。

翌日登った「冠岳山」も岩山でした。

韓国の山は、地下鉄、バスなどですぐに行かれる山ですが、高度感を味わうことができ、又、面白い山でした。

今回ソウル五岳のうちの二岳、残りの山に行くようなことがありましたら是非、参加したいと思います。

リーダーはじめ皆様お世話になりました。



北漢山下山後の夕食レストランにて（夕食後なので皆笑顔…）

韓国紅葉ハイキング

清水 利夫（東葛山の会）

県連の海外登山という事で、韓国の紅葉ハイキングの募集があったときにいち早く申し込みをしたのですが、申し込み直後に背中から右ひじにかけて強い痛みが出る体の異変で病院の診察を受けると「頸椎症」との事です。前月に腰の脊柱管狭窄症が完治したばかりで「またか…」と思い、今回の韓国はキャンセルかなと思いながら医師に相談すると「まだ先のことなので治る可能性もあるから様子見をしてみたら…」との事。出発直前になり、痛みはだいぶ収まってきたのですが長時間の着席やパソコンに向き合う作業などを行うと我慢できないほどの痛みが出るので直前まで参加にためらいがありました。それでも痛み止めの薬を持参で参加することにしました。

参加してみると2時間程で韓国に到着。バスでホテルに入り夕食の会場へ行き本場の韓国料理。美味しいと勧められた韓国のビールも違和感もなくいただくことができ、とても美味しいと思いました。

翌日は、北漢山に登るという事で軽いハイキングのつもりで出発しましたが、いざ登ってみるとなかなかの岩山で考えが甘かったかなと少し後悔！

肩から右腕の痛みが……、痛み止め程度ではカバーできないかなと不安がよぎる！



案の定、山頂近くになると手すりはあるものの、手すりにつかまらなるととても登る事はできませんでした。最初は痛みで「最後まで行けるのか…」と思いましたが必死で登っているうちに痛みも忘れ山頂に着いていました。途中からの景観は、ソウルの市街が一望できて高層ビルが乱立し日本とは違う景色を満喫できました。

翌日は冠岳山。ここもやはり岩山で、途中行違う人から何度も韓国語で話しかけられる。見た目は同じで韓国の人と間違われるようです。土日の祭日とあって沢山の家族ハイカーとすれ違う。山頂もすごい混雑で市民のリクリーションの場になっているのだなと思いました。

韓国の山は日本から2時間程の隣国の山ですが、山から眺めるソウルの市街は、高層ビル一つをとっても「大陸の一部なのだな」と感じさせられます。地震の多い島国日本では見られない景色です。

それにソウルの山々は、地下鉄一本でアクセスできる便利さはとても良いと思います。ソウルには有名な山が5山あるそうですが、他の山に登るために、また行きたいと思いました。

韓国（北漢山、冠岳山）ハイキング報告

杉山 喜代枝（ちば山の会）

<1> 10月18日

成田空港→仁川空港→ホテル泊

<2> 10月19日



ホテル最寄り駅から『T-money』で地下鉄に乗り北漢山大東門コース登山口へ。

登山ガイド2人（権さん、李さん）に先導され登る。

3峰の岩山の真中が白雲台で、大山、縄文杉のように階段のアップダウンが続き、登るにつれ紅葉も見られ、延々と城壁もあり歴史を感じた。階段の高さが合わずゴンさんに後ろよりプッシュしてもらい一枚岩の山頂（北漢山）に着く。韓国旗はためく頂より首都ソウルの市街地の展望は素晴らしかった。

筑波山位と思って参加したが、登り応えのある山だった。

下山後の食事処まで結構あって、帰りはホテルまでタクシーで助かった。

<3> 10月20日

ホテルーソウル大学のそばの冠岳山登山口から登る。

昨日と同じく階段の急登で花崗岩の露出部分もあり面白かった。山頂は幸福のスポットで、ヤングのカップルが多く写真の順番待ち行列であった。

下山途中 10年前クライミングで訪れた場所のような所を通った。あの時はスラブの真中に1本、クラックが走っていてジャミングで登り大変だった。

下山口のソウル大学は広く立派な施設であった。

<4> 10月21日

ホテルー黄（ファン）さんの案内でソウル市内そして市場観光。仁川空港→成田帰国。

『ネイサンスホテル』も『夕食』も良く、安彦さんのご配慮に感謝。有難う御座いました。



千葉県連 海外登山に参加して

高橋 芳恵（岳人あびこ）

県連から海外登山の計画が発表された時、「一度訪ねてみたいと思っていたソウルに今回是非行ってみたい…」と思った。観光だけでなく、ハイキングが楽しめるということでこれもまた魅力だった。

ハイキング計画はソウル市内の国立公園「北漢山」そして「冠岳山」。標高からは筑波山・宝篋山程度の山かと想像していたが、両山とも大変な花崗岩の岩山で市民に大人気の山であるとのこと。丁度土曜日・日曜日で多くの登山者が楽しんでいた。

***北漢山**では折からトレランの大会が開催されており、日本からも 30 名の参加者が 50Km/100km コースを駆け抜け、言葉を交わし合った。

急傾斜の岩登りを必死に鉄棒をつかみながら登りきると山頂付近に到着した。イメージとしてはヨセミテのハーフドーム、六甲山に瑞牆山の山頂部を加えたような山だった。

北漢山山頂は巨岩の上で大勢の人がにぎわい、韓国旗の前で記念写真を撮るのに 30 分も待つことになった。はるか川の向こうは北朝鮮であるとのこと。同じ同胞が分断され、先日南北に繋がる国道が爆破されたことを聞いて複雑な思いで山頂から眺めた。

1 日目はこれでもかというほどに歩くことになったが、帰路紅葉を楽しみながらひたすら歩いた。

***冠岳山**も花崗岩の同様な岩山であるが、前日より足にやさしい。山頂は屹立した岩があり、その上に丸いドームのような一枚岩がある。前日同様ソウルの街並み、周囲の岩山の風景を展望した。ソウル大学の裏山のように位置しているが、溪流が流れ、紅葉を愛で、市民は気軽に山を楽しんでいて、韓国の人の山好きな原因がこうした環境にあることも理解できた。

下山後はバスを乗り換えて帰路についたが、経済が上向きで国内に活気があることを感じた。

***韓国の楽しみ**は何といってもお食事であり、山のお昼はホイルに包んだ巻きずしのキンバ、ヤキニク・スンドウブ 白菜やえごまの葉で巻いた海鮮、鶏肉のタッカンマリ、冷麺、ビールも飲みやすく、皆さんはマッコリも愛でていた。最後は空港で人気のウユ（バナナ牛乳）で締め、健康的な美味しいものだらけ食の楽しみを十分味わうことができた。

今回も千葉県連の安彦海外委員長のご尽力によりこうした海外登山の機会を得ることができ、改めて感謝申し上げ、ご一緒いただいた皆様には 4 日間親しく交流させていただき、楽しく過ごさせていただいた事に改めて御礼申し上げます。

またの機会を楽しみにしています。



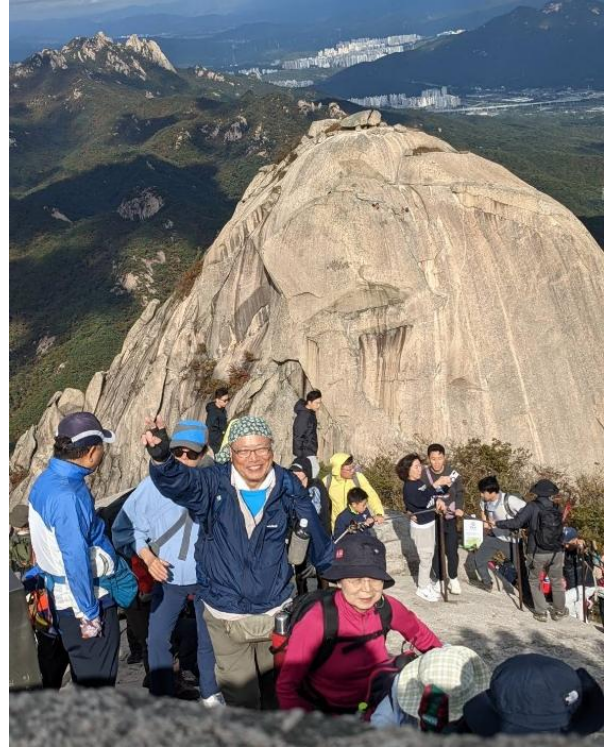
短歌 **北漢山**（プッカサン） & **冠岳山**（クァナクサン）を振り返り

羽鳥 健一郎（東葛山の会）

【北漢山】

都心から地下鉄乗りて小半時ソウル市民の誇りの山へ
地下鉄を降りて周りにはリュック背負う北漢山への登山者^{あまた}数多
太極旗^{たいきょくき}ソウルの街の此処かしこ秋天の下^{ひるがえ} 翻りおり
店先に海苔巻^{キンパブ}並べ登山者へ声掛ける婦人ソウルの朝の
シニアらはガイドに合わせ声を出し北漢山へと準備体操
秋天の北韓山は岩の山スリルに溢れ緊張続く
北漢山登る我らとすれ違うゼッケン付けたトレランの一群^{むれ}
トレランの大会の日と重なりぬ数多のランナー早や駆け下る
紅葉の先に聳ゆる北漢山秋天の下どっしりと座す
紅葉と整備されたる石積の城壁続くナショナルパーク
若者らソウル五岳の登頂を祝う横断幕もちカメラにポーズ
秋^{あき}の白雲台の頂に韓国の国旗^{はた}翻りおり
登頂の^{韓国.msg}写真撮らんと北漢山山頂直下は人溢れおり





北漢山の山頂と山頂直下 （後ろの岩峰は仁寿峰）

【冠岳山】

坂多いソウルの街の住宅地通り過ぎ行く冠岳山へ
 岩山のアップダウンを繰り返し彼方に仰ぐ冠岳山
 ふり返る昨日登りし北漢山漢江のさき秋天に映ゆ
 札幌の藻岩山頂思い出す眼下広がるソウルの町よ
 冠岳山スリルに溢れ緊張の続く岩場に悲鳴幾度も
 冠岳山^{いただき}頂の名は恋主台^{ヨンジュデ}若きカップル多く華やぐ
 山を下りバスのシートに背を持たれ暫し車窓のソウル観光



「東葛山の会」が勢揃い

『韓国：紅葉ハイキング』に参加して

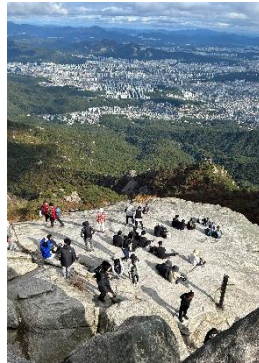
藤崎 郁子（岳人あびこ）

私は去年「岳人あびこ」に入会し、そして「ちばニュース」を目にして海外山行があるのを知りましたが、「私には到底むり、まだ早い…いつか行けたら良いなあ…」と思っていました。

ところが、今回の企画を知り韓国にはこれまでに2回行きましたが、好きな韓国で登山をするという事はなかなか無いのでは…と思い切って参加させていただきました。

登った北漢山と冠岳山は岩山で、私が登った日本の山とは違い階段が整備されていて観光地のような印象でしたが所々紅葉もありました。ソウルの街が一望出来て景色がとても良く現地の方も大勢登っていて楽しい山でした。

そして下山後のお楽しみの食事は、日本のガイドブックには載っていない現地の人達が行くお店に連れて行って頂けたのもとても良かったです。どれも美味しく初めて食べた物もありました。



韓国にはいつもは自分達だけなので、ガイドの黄（ファン）さんや山ガイドのお二人にも接することが出来たのも良い経験でした。

今回4日間、安彦さん始め海外山行の数多くの経験の有る先輩の方々とご一緒させて頂けたことも、とても貴重で良い経験になりました。有難うございました。

帰国後、ZOOMでの交流会を設けて頂き有難いです。これからこのご縁を大切に是非よろしくお願い致します。

また、皆様とご一緒できます機会を楽しみにしております。

お世話になりました。



『韓国：紅葉ハイキング』実施報告

『思い出交換会』を Zoom で開催

海外委員会委員長 安彦秀夫（東葛山の会）



まずは帰国翌日 22 日（火）早朝に、千葉県連と全国連に、『参加者 17 名全員無事帰国…』をメールで報告しました。



「思い出交換会を Zoom で開催するのでは是非参加してください」とガイドの黄さんにメール送付したら、「はい、喜んで…」という返事が届き、日程調整をし、参加者の皆さんに予告メールを配信し、スケジュールに入れてもらいました。初めは、19 日（火）ということで進めていましたが、翌 20 日（水）から黄さんが日本に出張されることを知り、1 日前倒しで設定しました。

並行して、『2024 ちばニュース 12 月号（今月号）』で『特集：韓国・紅葉ハイキング』を組むことにし、参加者全員から感想文や写真などを投稿してもらいました。多謝!!

出会いを求めて冠岳山へ…待てよ！私らは違うか…？ いや、そうだね…。

思い出交換会（Zoom）開催 11 月 18 日（月）19:00～21:00

黄さん初め、ハイキング参加者 16 名中 12 名の合計 13 名が参加し、韓国 4 日間滞在中の感動などが次から次と…。（順不同）

*黄さんお勧めのお土産（キムチ、ナッツ入り飴、顔パックなど）が大好評だった…

*夕食や昼食で味わった料理が美味かった、ビールもマッコリも旨かった…

*昼食に食べた「キンパ」が忘れられない…2 日連続で味わったね…

*登山コース途中や山頂からソウル市街の大展望を満喫できた…

*登山口最寄り駅までのアプローチが良いので羨ましい…

*李さんの準備体操がユニークで楽しくできた…

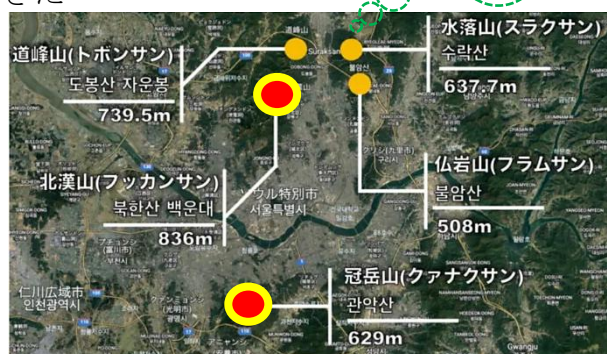
*時差がないので良かった…

*夕食後、タクシーでホテルに戻ったが、料金が安くびっくり…

*ソウル 5 岳完登の記念写真を撮っている人を見た…多いんですか？

→山が近く健康ブームで、特に若い人が「出会い」を求めて登るんですよ！（黄）

残り 3 座も
登ろう！



ソウル近郊の人気山 5 座

県連活動予定表

12月		
日付	曜日	県連活動予定
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	大雪
8	日	
9	月	
10	火	全国海外委員会/ZOOM 19:30
11	水	
12	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	理事会 (対面) 19:00-21:00
20	金	
21	土	冬至
22	日	
23	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)
24	火	
25	水	
26	木	海外委員会/ZOOM 19:30-21:00
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

1月		
日付	曜日	県連活動予定
1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	小寒
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	全国海外委員会/ZOOM 19:30
15	水	
16	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	大寒
21	火	
22	水	
23	木	機関紙委員会/ZOOM 19:00-21:00
24	金	
25	土	房総ハイキング (勝浦)
26	日	
27	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

事故発生時の連絡先

各委員会、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 安彦秀夫

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： https://www.cwaf.jp

事務所に常駐者はいません